

# 消 防 編

# 第1章 消防の概要

第1表 福井県常備消防体制(平成26年4月1日現在)

嶺北消防組合

設置年月日	S44. 7. 24
消防吏員	191人
普通消防車	6台
救急車	9台

永平寺町

設置年月日	H18. 2. 13
消防吏員	37人
普通消防車	1台
救急車	3台

勝山市

設置年月日	S36. 8. 1
消防吏員	37人
普通消防車	2台
救急車	3台

福井市

設置年月日	H18. 2. 1
消防吏員	348人
普通消防車	22台
救急車	10台

大野市

設置年月日	H17. 11. 7
消防吏員	55人
普通消防車	4台
救急車	4台

鯖江・丹生消防組合

設置年月日	S44. 11. 1
消防吏員	109人
普通消防車	5台
救急車	6台

南越消防組合

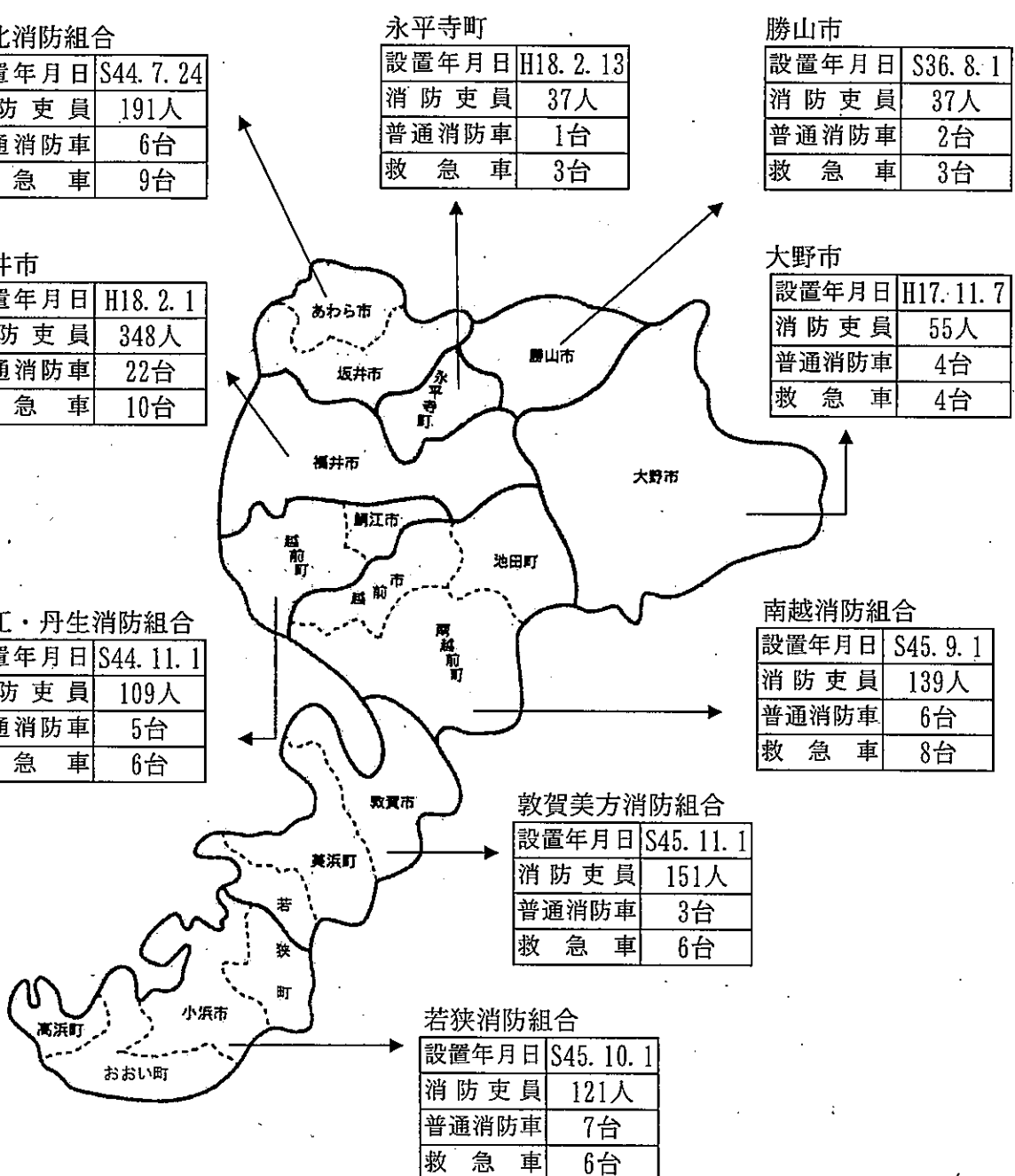
設置年月日	S45. 9. 1
消防吏員	139人
普通消防車	6台
救急車	8台

敦賀美方消防組合

設置年月日	S45. 11. 1
消防吏員	151人
普通消防車	3台
救急車	6台

若狭消防組合

設置年月日	S45. 10. 1
消防吏員	121人
普通消防車	7台
救急車	6台



※普通消防車とは、普通消防ポンプ自動車であり、台数については消防団分を含まない

第2表 消防の概況表

面積 (国土地理院「全国都道府県市区町村別面積調」H25. 10. 1現在)		4,189.89 km <sup>2</sup>	
平成22年国勢調査(確定値) 人口		806,314 人	
推計人口 (H26. 4月1日現在)		790,368 人	
推計世帯数(H26. 4月1日現在)		278,429 世帯	
65才以上高齢者数(福井県の年齢別人口(推計) H26.4.1現在)		215,323 人	
高齢化率 ( " )		27.2 %	
地域別人口	福井坂井地区(平成22年国勢調査 確定値)	409,332 人	
	奥越地区	60,757 人	
	丹南地区	190,821 人	
	嶺南地区	145,404 人	
25年火災状況	火災件数	226 件	
	うち	建物火災件数	132 件
		林野火災件数	7 件
	建物焼損面積	6250m <sup>2</sup>	
	林野焼損面積	44a	
	損害額	486,221 千円	
	うち	建物火災	424,012 千円
	死者(自殺者数内数)	11(2) 人	
	負傷者	32 人	
	出火率(人口1万人に対する出火件数)※H25年3月末住民基本台帳人口による	2.79 件	
25年救急状況	救急出場件数	26,462 件	
	うち	急病	15,820 件
		交通事故	2,852 件
		一般負傷	3,855 件
搬送人員	25,561 人		
消防本部・署所	消防本部	単独設置市	3
		単独設置町	1
		消防一部事務組合	5
	消防署数	19	
	出張所数	31	
	消防職員	消防吏員	1,188 人
		その他の職員	32 人
合計		1,220 人	
消防団	消防団数	18	
	分団数	237	
	消防団員	非常勤団員数	5,720 人
		常勤団員数	0 人
		合計	5,720 人

消 防 車 両 等	区 分		消防本部・署所	消 防 団	
		普通消防ポンプ自動車		56 台	139 台
	水槽付消防ポンプ自動車		22 台	—	
	はしご付消防ポンプ自動車		13 台	—	
	屈折はしご付消防ポンプ自動車		1 台	—	
	大型高所放水車		1 台	—	
	泡原液搬送車		2 台	—	
	化学消防自動車		17 台	—	
	指揮車		20 台	—	
	小型動力ポンプ付積載車		1 台	185 台	
	小型動力ポンプ(車両に積載していないもの)		28 台	104 台	
	広報車		29 台	—	
	資機材搬送車		26 台	—	
	屈折放水塔車		1 台	—	
	救急自動車		55 台	—	
	救助工作車		16 台	—	
	その他の車両		32 台	—	
消 防 水 利	消火栓		公 設	17,598 個	
			私 設	98 個	
	防火水槽		100㎡以上	78 基	
			60㎡以上 100㎡未満	122 基	
			40㎡以上 60㎡未満	4,774 基	
			20㎡以上 40㎡未満	516 基	
	井戸		公 設	84 個	
私 設			—		
そ の 他			604 個		
通 信 施 設 等	消防用無線		基地局および固定局		46 局
			移動局		611 局
	防災行政無線	市町	同報無線	同報親局	22 局
				同報受信設備	15713 局
		移動無線	基地局	23 局	
			移動局	939 局	
		県	固定系	地上系	30 局
				衛星系	74 局
	移動系	基地局等	31 局		
		移動局等	246 局		
	テレビ監視装置			2 基	
	火災報知専用電話			111 回線	
	消防電話			121 回線	

## 第2章 火災の実態

### 1 概況

平成25年中の火災発生件数は226件、死者11人、負傷者32人、損害額4億8,622万円、焼損棟数170棟、り災世帯数85世帯、り災人員234人となっており、一日当たりの損害状況は第1表のとおりで、概ね毎日133万円が灰じんに帰していることになる。

火災発生件数、損害額および死傷者数の過去10年間の推移は、第1図、第2図のとおりであり、火災発生件数においては、平成17年中が最も多く、平成23年中が最も少ない。

### 2 出火件数および損害額の状況

#### (1) 出火件数

総出火件数は226件で、これを火災種別ごとにみると、第3図のように建物火災が132件で全体の58.4%を占め、車両火災29件(12.8%)、林野火災7件(3.1%)、その他火災58件(25.7%)となっている。

また、建物火災だけでみると、第4図のように一般住宅が49件(37.1%)で最も多く、次いで工場16件(12.1%)、特定複合用途11件(8.3%)、共同住宅10件(7.6%)、飲食店5件(3.8%)、事務所等5件(3.8%)、その他16件(12.1%)となっている。

第3表の月別火災発生状況表を見ると、3月の発生件数が33件で最も多く、2月および11月が11件と最も少ない。

第4表では、市町別の火災発生状況を示している。

#### (2) 損害額

損害額は、4億8,622万円で、これを火災種別ごとにみると、第5図のように建物火災が4億2,401万円で全体の87.2%を占め、次いで車両火災1,280万円(2.6%)となっている。火災1件当たりの損害額は215万円となる。

第3表の月別火災発生状況表をみると、12月の損害額が1億1,905万円で最も多く、11月が52万円で最も少ない。

### 3 出火原因

全火災の出火原因別状況を表したのが第6図であり、出火原因別損害状況を表したのが第6表である。

第6図をみると、出火原因ではこんろが最も多く27件で11.9%を占め、次いで、たばこ20件(8.8%)、たき火18件(8.0%)、火入れ14件(6.2%)、電灯電話等の配線12件(5.3%)、ストーブ9件(4.0%)、放火9件(4.0%)などとなっている。

#### 4 火災による死者の状況

死者の死因別発生状況を表したのが第7表であり、死者の経過別、年齢別発生状況を表したのが第8表である。

第7表をみると、死因では、一酸化炭素中毒・火傷が6人、自殺が2人、打撲・骨折が1人、その他が2人となっている。

また、平成25年中の死者に占める高齢者は8人で全体の73%となった。

第1表 1日当たりの損害状況

区 分	単位	平成25年 (A)	平成24年 (B)	対前年増加数 (A) - (B)
出 火 件 数	件	0.62	0.56	0.06
損 害 額	万円	133	260	△126
焼 損 棟 数	棟	0.47	0.53	△0.06
り 災 世 帯 数	世帯	0.23	0.27	△0.04
り 災 人 員	人	0.64	0.68	△0.04

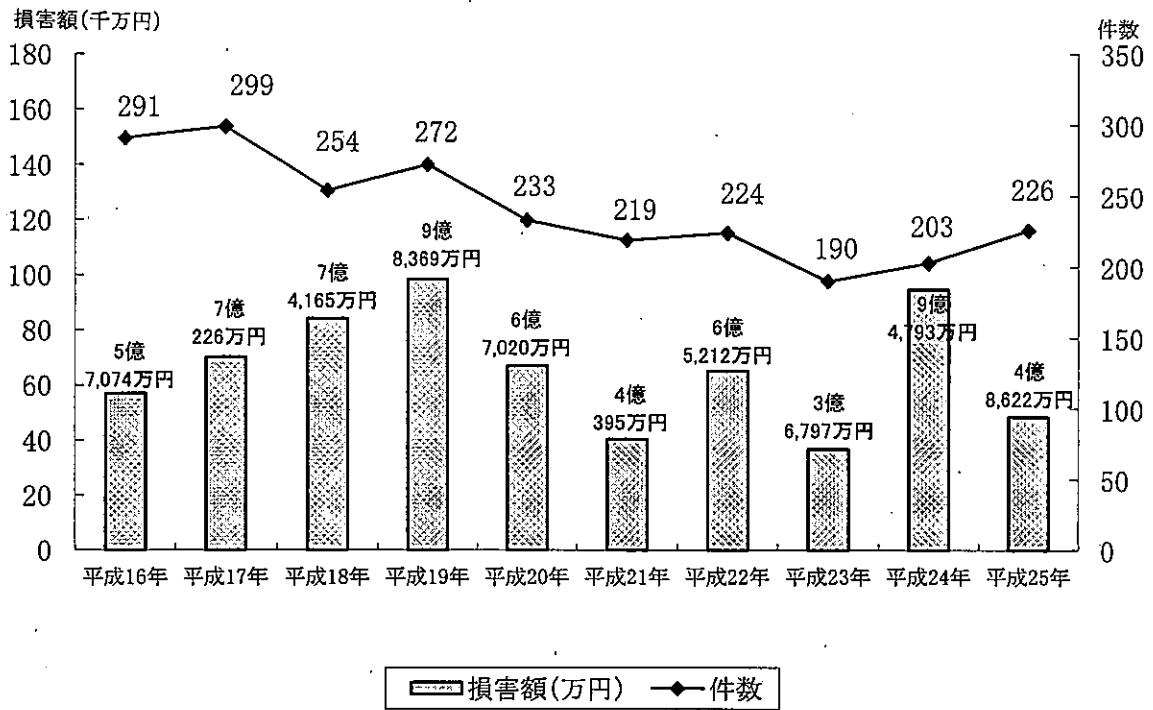
第2表 平成25年火災発生状況と前年比較表

区 分	平成25年(A)	平成24年(B)	対前年増加数 (A) - (B) = (C)
総 出 火 件 数	226	203	23
建 物	132	133	△ 1
林 野	7	8	△ 1
車 両	29	30	△ 1
船 舶	0	0	0
そ の 他	58	32	26
焼 損 棟 数 (棟)	170	194	△ 24
全 焼	45	48	△ 3
半 焼	11	12	△ 1
部 分 焼	47	53	△ 6
ぼ や	67	81	△ 14
り 災 世 帯 数 (世帯)	85	98	△ 13
全 損	14	24	△ 10
半 損	5	11	△ 6
小 損	66	63	3
り 災 人 員 (人)	234	250	△ 16
建 物 焼 損 面 積 (㎡)	6,250	11,735	△ 5,485
林 野 焼 損 面 積 (a)	44	29	15
損 害 額 合 計 (千円)	486,221	947,932	△ 461,711
建 物	424,012	880,179	△ 456,167
林 野	130	494	△ 364
車 両	12,803	19,389	△ 6,586
船 舶	0	0	0
そ の 他	49,275	47,387	1,888
爆 発	1	483	△ 482
死 者 (人)	11	10	1
( ) は 放 火 自 殺 者 内 数	(2)	(4)	(△ 2)
建 物	8 (1)	6 (0)	2 1
林 野	1	0	1
車 両	0 (0)	4 (4)	△ 4 (△ 4)
船 舶	0	0	0
そ の 他	2 (1)	0 (0)	2 (1)
負 傷 者 (人)	32	39	△ 7
建 物	27	30	△ 3
林 野	0	0	0
車 両	0	4	△ 4
船 舶	0	0	0
そ の 他	5	5	0
出 火 率 (人口1万人に対する出火件数)	2.79	2.53	

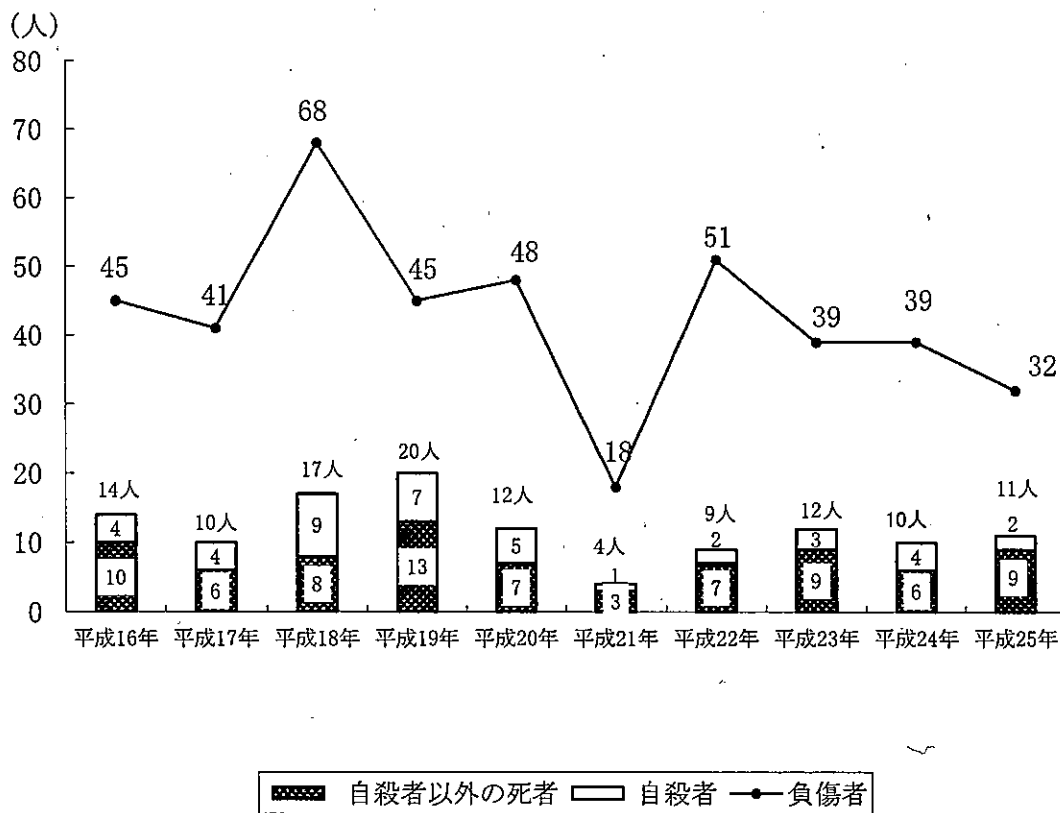
平成25年人口:平成25年3月31日現在の住民基本台帳による。

平成24年人口:平成24年3月31日現在の住民基本台帳による。

第1図 過去10年間の出火件数と損害額の推移

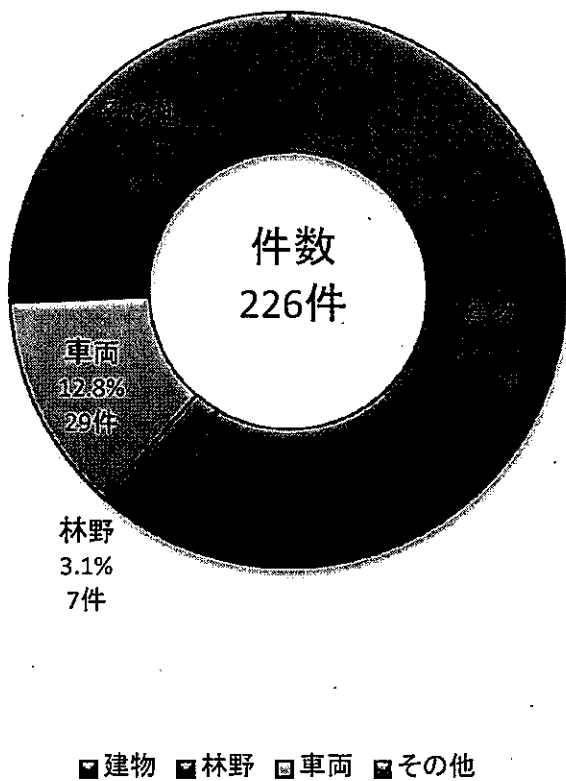


第2図 過去10年間の死傷者数の推移

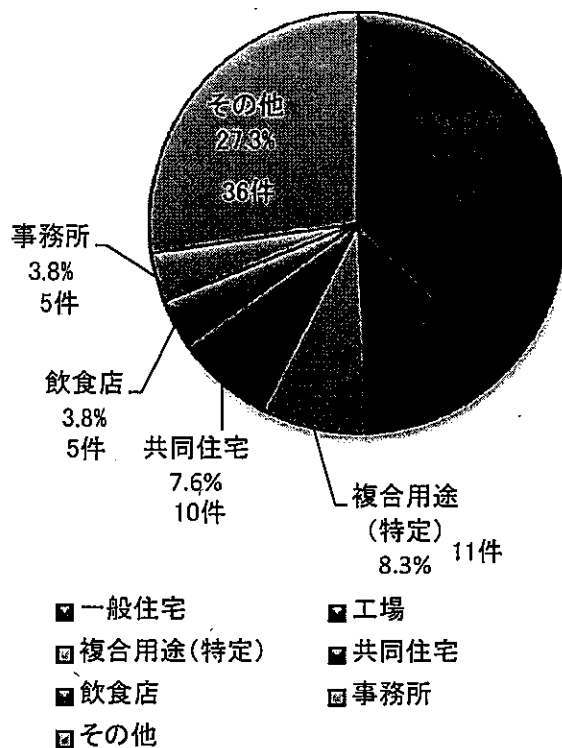




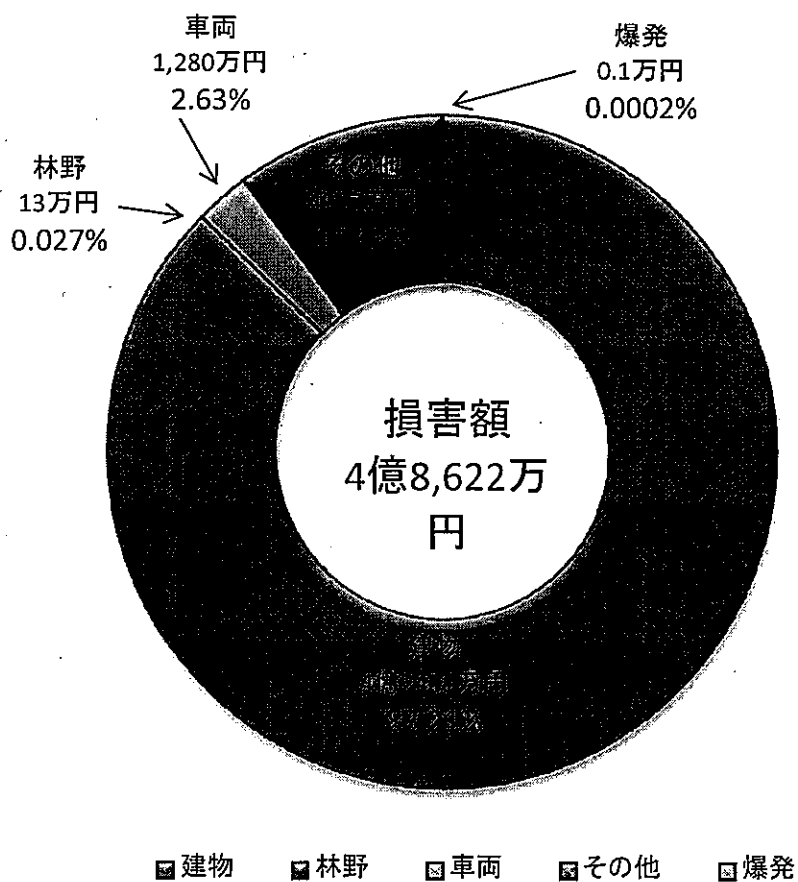
第3図 火災発生件数の内訳



第4図 うち建物火災件数の内訳



第5図 損害額の内訳



第3表 平成25年月別火災発生状況表

月	出火件数(件)						焼損棟数(棟)						焼損面積			り災世帯数(世帯)			り災人員(人)	死( ) 内は放火自殺者(人)	負傷者(人)	損害額(千円)					
	合計	建物	林野	車両	船舶	その他	合計	全焼	半焼	部分焼	ば	建物(m <sup>2</sup> )	林野(a)	合計	全	半	小	合計				建物	林野	車両	船舶	その他	爆発
1	15	14	0	1	0	0	23	8	2	6	7	1,321	0	14	4	1	9	43	4	1	109,241	0	150	0	0		
2	13	11	0	1	0	1	12	2	1	3	391	0	8	1	1	6	26	1	0	15,513	0	848	0	34	0		
3	33	11	2	4	0	16	12	5	0	3	588	16	5	2	0	3	17	0	0	22,525	21,474	4	761	0	286	0	
4	18	10	1	3	0	4	13	4	1	2	343	2	8	2	1	5	19	1	0	53,043	51,692	0	1,347	0	4	0	
5	27	14	2	2	0	9	19	5	1	8	804	13	10	1	0	9	23	1	0	79,023	75,298	94	1,144	0	2,487	0	
6	21	9	2	3	0	7	9	1	0	4	135	13	5	0	0	5	13	0	0	20,188	16,167	32	3,988	0	1	0	
7	15	9	0	3	0	3	9	2	0	4	77	0	2	0	0	2	5	1	0	7,039	5,151	0	1,886	0	2	0	
8	17	7	0	5	0	5	12	3	1	4	368	0	6	1	0	5	13	1	0	19,914	17,804	0	1,905	0	205	0	
9	18	14	0	2	0	2	18	6	3	2	754	0	7	1	1	5	12	0	0	27,657	27,193	0	464	0	0	0	
10	19	12	0	2	0	5	13	1	0	6	435	0	7	0	0	7	18	0	0	12,492	8,028	0	21	0	4,442	1	
11	13	9	0	2	0	2	9	0	0	2	0	0	4	0	0	4	19	1	0	529	336	0	189	0	4	0	
12	17	12	0	1	0	4	21	8	2	3	1,034	0	9	2	1	6	26	1	1	119,057	77,147	0	100	0	41,810	0	
計	226	132	7	29	0	58	170	45	11	47	6,250	44	85	14	5	66	234	11	2	486,221	424,012	130	12,803	0	49,275	1	

第4表 市町別火災状況

区分	出火件数(件)							焼損棟数(棟)				り災世帯数(世帯)			り災人員(人)		
	計	建物	林野	車両	船舶	航空機	その他	計	全焼	半焼	部分焼	ぼや	計	全損		半損	小損
福井市	63	44	0	5	0	0	14	58	8	5	17	28	36	6	2	28	85
敦賀市	15	7	2	2	0	0	4	8	1	0	3	4	5	0	0	5	9
小浜市	15	4	0	4	0	0	7	4	0	0	2	2	3	0	0	3	6
大野市	8	4	0	1	0	0	3	7	4	2	1	0	3	0	2	1	10
勝山市	9	6	0	1	0	0	2	6	2	1	0	3	2	1	0	1	7
鯖江市	20	11	0	3	0	0	6	12	2	0	6	4	4	0	0	4	20
あわら市	10	6	0	2	0	0	2	8	2	1	2	3	2	0	0	2	3
越前市	19	8	0	3	0	0	8	9	0	0	4	5	5	0	0	5	14
坂井市	19	18	0	1	0	0	0	19	2	1	7	9	12	0	1	11	41
市計	178	108	2	22	0	0	46	131	21	10	42	58	72	7	5	60	195
永平寺町	4	2	1	0	0	0	1	5	3	0	0	2	2	1	0	1	9
池田町	2	2	0	0	0	0	0	2	1	0	1	0	1	0	0	1	1
南越前町	6	1	1	3	0	0	1	1	0	0	0	1	1	0	0	1	2
越前町	13	6	2	2	0	0	3	7	3	0	2	2	3	2	0	1	10
美浜町	5	3	0	0	0	0	2	8	6	1	0	1	2	2	0	0	8
高浜町	7	3	1	1	0	0	2	3	1	0	1	1	1	0	0	1	2
おおい町	2	1	0	0	0	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0
若狭町	9	6	0	1	0	0	2	12	9	0	1	2	3	2	0	1	7
(内訳)																	
旧三方町 敦賀美方消防管轄	5	4	0	1	0	0	0	9	8	0	0	1	1	1	0	0	3
旧上中町 若狭消防管轄	4	2	0	0	0	0	2	3	1	0	1	1	2	1	0	1	4
町計	48	24	5	7	0	0	12	39	24	1	5	9	13	7	0	6	39
県計	226	132	7	29	0	0	58	170	45	11	47	67	85	14	5	66	234

若狭町は、旧三方町と旧若狭町では消防の管轄が異なるため、内訳を記載した。

期間:平成25年1月1日～12月31日

死傷者数(人)		焼 損 面 積			損 害 額(千円)						
死 者	負 傷 者	建 物 床 (m <sup>2</sup> )	建 物 表 (m <sup>2</sup> )	林 野 (a)	合 計	建 物	林 野	車 両	船 舶	そ の 他	爆 発
3	16	1,240	154	0	155,244	112,255	0	1,247	0	41,742	0
0	1	9	9	2	1,832	677	0	894	0	261	0
1	0	7	3	0	11,754	6,935	0	4,245	0	573	1
0	1	678	2	0	13,352	7,576	0	1,335	0	4,441	0
0	0	308	2	0	13,331	12,769	0	562	0	0	0
0	1	240	30	5	53,778	53,657	0	116	0	5	0
1	1	561	25	0	35,759	34,246	0	1,280	0	233	0
0	6	6	4	0	3,157	922	0	282	0	1,953	0
2	1	283	90	0	34,573	34,421	0	150	0	2	0
7	27	3,332	319	7	322,780	263,458	0	10,111	0	49,210	1
0	0	203	258	4	22,784	22,780	4	0	0	0	0
0	0	42	0	0	527	527	0	0	0	0	0
1	1	0	0	5	729	0	0	729	0	0	0
0	3	421	46	19	41,356	40,964	126	265	0	1	0
1	0	1,282	0	0	65,186	65,186	0	0	0	0	0
0	0	65	57	9	2,400	1,552	0	848	0	0	0
0	0	4	0	0	8	8	0	0	0	0	0
2	1	901	8	0	30,451	29,537	0	850	0	64	0
0	0	710	0	0	14,097	13,183	0	850	0	64	0
2	1	191	8	0	16,354	16,354	0	0	0	0	0
4	5	2,918	369	37	163,441	160,554	130	2,692	0	65	0
11	32	6,250	688	44	486,221	424,012	130	12,803	0	49,275	1

第5表 市町別月別火災発生件数、損害額および出火率

区 分	総計		1月		2月		3月		4月		5月		6月	
	件数	損害額 (千円)	件数	損害額 (千円)	件数	損害額 (千円)	件数	損害額 (千円)	件数	損害額 (千円)	件数	損害額 (千円)	件数	損害額 (千円)
福井市	63	155,244	5	17,479	3	193	5	6,540	5	40,586	5	1,466	7	11,567
敦賀市	15	1,832	1	0	2	29	4	301	1	0	1	845	1	0
小浜市	15	11,754	0	0	0	0	1	6	1	5,740	3	866	3	3,933
大野市	8	13,352	0	0	2	3,246	0	0	2	3,215	0	0	0	0
勝山市	9	13,331	0	0	0	0	4	7,373	1	1,800	1	108	0	0
鯖江市	20	53,778	2	539	0	0	3	50	2	173	4	1,063	1	45
あわら市	10	35,759	0	0	2	33	1	3,322	0	0	3	30,840	1	10
越前市	19	3,157	1	3	0	0	3	260	2	521	1	1,908	2	0
坂井市	19	34,573	2	8,219	2	164	3	3,454	2	158	3	16,466	3	4,487
市 計	178	322,780	11	26,240	11	3,665	24	21,306	16	52,193	21	53,562	18	20,042
永平寺町	4	22,784	1	22,778	0	0	2	4	0	0	0	0	0	0
池田町	2	527	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
南越前町	6	729	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0
越前町	13	41,356	1	289	1	11,000	2	386	0	0	3	25,457	1	32
美浜町	5	65,186	1	44,822	0	0	1	0	0	0	1	4	0	0
高浜町	7	2,400	0	0	1	848	0	0	0	0	1	0	2	114
おおい町	2	8	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
若狭町	9	30,451	1	15,112	0	0	3	829	1	850	0	0	0	0
(内訳)														
旧三方町 敦賀義方消防管轄	5	14,097	0	0	0	0	2	829	1	850	0	0	0	0
旧上中町 若狭消防管轄	4	16,354	1	15,112	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
町 計	48	163,441	4	83,001	2	11,848	9	1,219	2	850	6	25,461	3	146
県 計	226	486,221	15	109,241	13	15,513	33	22,525	18	53,043	27	79,023	21	20,188

若狭町は、旧三方町と旧若狭町では消防の管轄が異なるため、内訳を記載した。

出火率(人口1万人に対する出火件数)は、平成25年3月31日現在の住民基本台帳人口により算定

期間:平成25年1月1日～12月31日

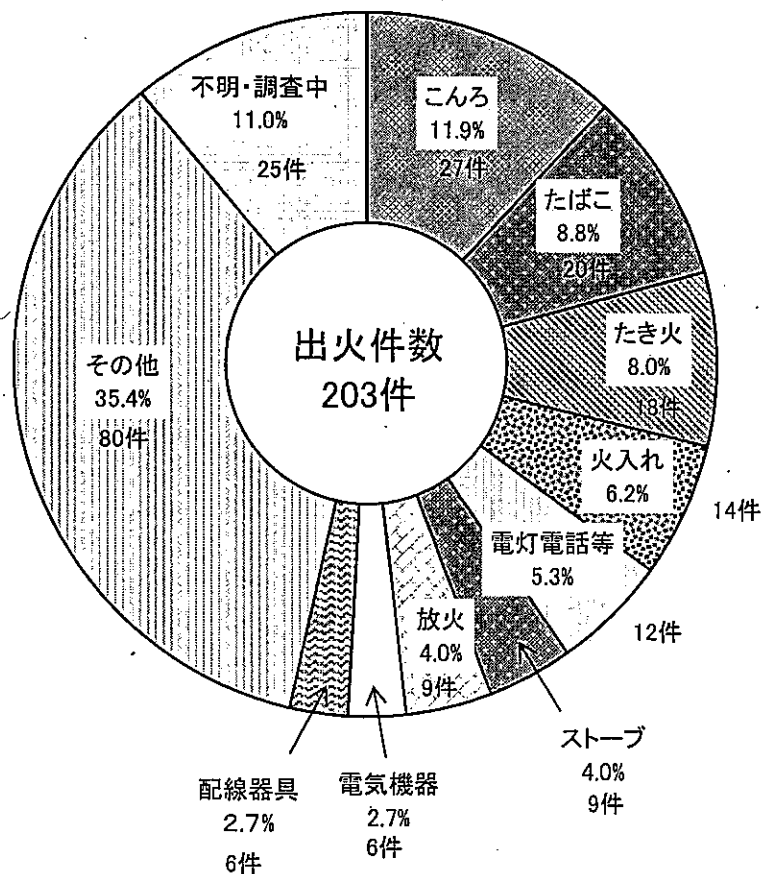
7月		8月		9月		10月		11月		12月		出火率 (人口 1万人に 対する 出火件数)
件数	損害額 (千円)	件数	損害額 (千円)	件数	損害額 (千円)	件数	損害額 (千円)	件数	損害額 (千円)	件数	損害額 (千円)	
4	1,227	7	17,672	3	532	8	6,123	5	230	6	51,629	2.35
0	0	2	405	1	23	2	229	0	0	0	0	2.19
1	13	1	0	2	992	3	204	0	0	0	0	4.82
1	1,240	1	0	1	1,210	1	4,441	0	0	0	0	2.22
0	0	0	0	3	4,050	0	0	0	0	0	0	3.53
1	5	0	0	1	0	1	21	3	99	2	51,783	2.90
1	76	1	1,270	0	0	0	0	0	0	1	208	3.35
2	0	0	0	1	16	1	111	3	191	3	147	2.25
1	2	1	3	0	0	0	0	0	0	2	1,620	2.02
11	2,563	13	19,350	12	6,823	16	11,129	11	520	14	105,387	2.52
0	0	0	0	1	2	0	0	0	0	0	0	2.04
1	99	0	0	0	0	1	428	0	0	0	0	6.54
0	0	1	356	1	364	1	0	1	9	0	0	5.18
1	3,874	2	165	1	100	0	0	0	0	1	53	5.51
0	0	0	0	2	20,360	0	0	0	0	0	0	4.81
2	503	0	0	0	0	1	935	0	0	0	0	6.36
0	0	0	0	1	8	0	0	0	0	0	0	2.29
0	0	1	43	0	0	0	0	1	0	2	13,617	5.58
0	0	1	43	0	0	0	0	0	0	1	12,375	
0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	1,242	
4	4,476	4	564	6	20,834	3	1,363	2	9	3	13,670	4.61
15	7,039	17	19,914	18	27,657	19	12,492	13	529	17	119,057	2.79

第6表 全火災の出火原因別損害状況表

期間:平成25年1月1日～12月31日

出火原因	出火件数(件)	焼損床面積(m <sup>2</sup> )	焼損棟数(棟)	り災世帯数(世帯)	損害額(千円)
こ ん ろ	27	23	25	19	4,164
た ば こ	20	20	16	11	4,152
た き 火	18	30	3	1	1,530
火 入 れ	14	37	2	0	3,553
電 灯 電 話 等	12	450	14	7	29,455
ス ト ー ブ	9	849	12	9	44,611
放 火	9	257	12	6	23,363
電 気 機 器	6	100	6	2	2,267
配 線 器 具	6	2	4	3	2,337
そ の 他	80	1,963	53	15	222,102
不 明・調 査 中	25	2,519	23	12	148,687
合 計	226	6,250	170	85	486,221

第6図 全火災の出火原因別状況



第7表 死者の死因別発生状況表

火災種別	死因	一酸化炭素 中毒・窒息	火傷	打撲・骨折 等	自殺	その他	不明	合計(人)
建 物 火 災		2	4	0	1	1	0	8
林 野 火 災		0	0	1	0	0	0	1
車 両 火 災		0	0	0	0	0	0	0
そ の 他 火 災		0	0	0	1	1	0	2
合 計 ( 人 )		2	4	1	2	2	0	11

第8表 死者の経過別・年齢別発生状況表

経過別	年齢別(歳)												合計(人)	
	0～ 5	6～ 10	11 ～ 20	21 ～ 30	31 ～ 40	41 ～ 50	51 ～ 60	61 ～ 64	65 ～ 70	71 ～ 80	81～	不明		
持ち出し品、服装に気 をとられ避難できず									1					1
身体不自由等により ほとんど避難できず												1		1
延焼拡大早期により 避難できず														0
逃げれば逃げられ たが機会を失する														0
避難行動を起こし たが逃げ切れず														0
出火後再進入														0
着衣着火				1							2			3
殺人・自殺								1		1				2
その他														0
不明・調査中						1			1	1	1			4
合計(人)	0	0	0	1	0	1	0	1	2	4	2	0		11



## 第3章 救急業務の実態

### 1 救急体制

災害により生じた事故もしくは屋外および公衆の出入りする場所、または屋内において生じた事故で、迅速に搬送する手段がない場合に傷病者を医療機関等へ搬送する業務が救急業務であるが、平成26年4月1日現在、第1表のとおり、救急自動車55台(うち高規格救急自動車54台)、救急隊員534名(うち救急救命士188名)で救急業務にあたっている。

### 2 救急医療体制

救急隊が搬送する傷病者を受け入れる救急告示医療機関数は、平成26年4月1日現在、第2表のとおり55施設である。

### 3 救急活動状況

救急活動状況を表したのが第3表であり、救急出場件数は26,462件、搬送人員は25,561人となっている。県内1日あたりの出場件数は約72件となり、約20分に1回の割合で救急隊が出場したことになる。

過去10年間の出場件数および搬送人員の推移を表したのが第1図であり、出場件数、搬送人員ともにほぼ毎年増加している。

出場件数、搬送人員の事故種別内訳を表したのが第2図、第3図であり、出場件数の事故種別内訳では、急病が15,820件で、全体の59.8%を占め、次いで一般負傷3,855件(14.6%)、交通事故2,852件(10.8%)などとなっている。搬送人員では急病が14,968人で全体の56.6%を占め、次いで一般負傷3,696人(14.5%)、交通事故3,300人(12.9%)などとなっている。

第1表 救急体制状況表

平成26年4月1日現在

消防(局)本部名	救急自動車			救急隊員					
	高規格救急車	通常型	合計	専任		兼任		合計	
				救急救命士		救急救命士			
福井市	10	0	10	46	21	28	11	74	32
大野市	4	0	4			44	17	44	17
勝山市	3	0	3			25	7	25	7
永平寺町	3	0	3			32	9	32	9
嶺北消防組合	9	0	9			85	30	85	30
鯖江・丹生消防組合	6	0	6			108	26	108	26
南越消防組合	7	1	8	4	4	66	19	70	23
敦賀美方消防組合	6	0	6	35	19	8		43	19
若狭消防組合	6	0	6	8	6	45	19	53	25
合計	54	1	55	93	50	441	138	534	188

第2表 医療機関状況表

平成26年4月1日現在

種別 告示別	国・公立	公的	私 的		合計
			病 院	診 療 所	
救急告示医療機関	6	6	25	18	55
その他の医療機関	16	7	32	398	453
合計	22	13	57	416	508

第3表 救急活動状況

(平成25年中)

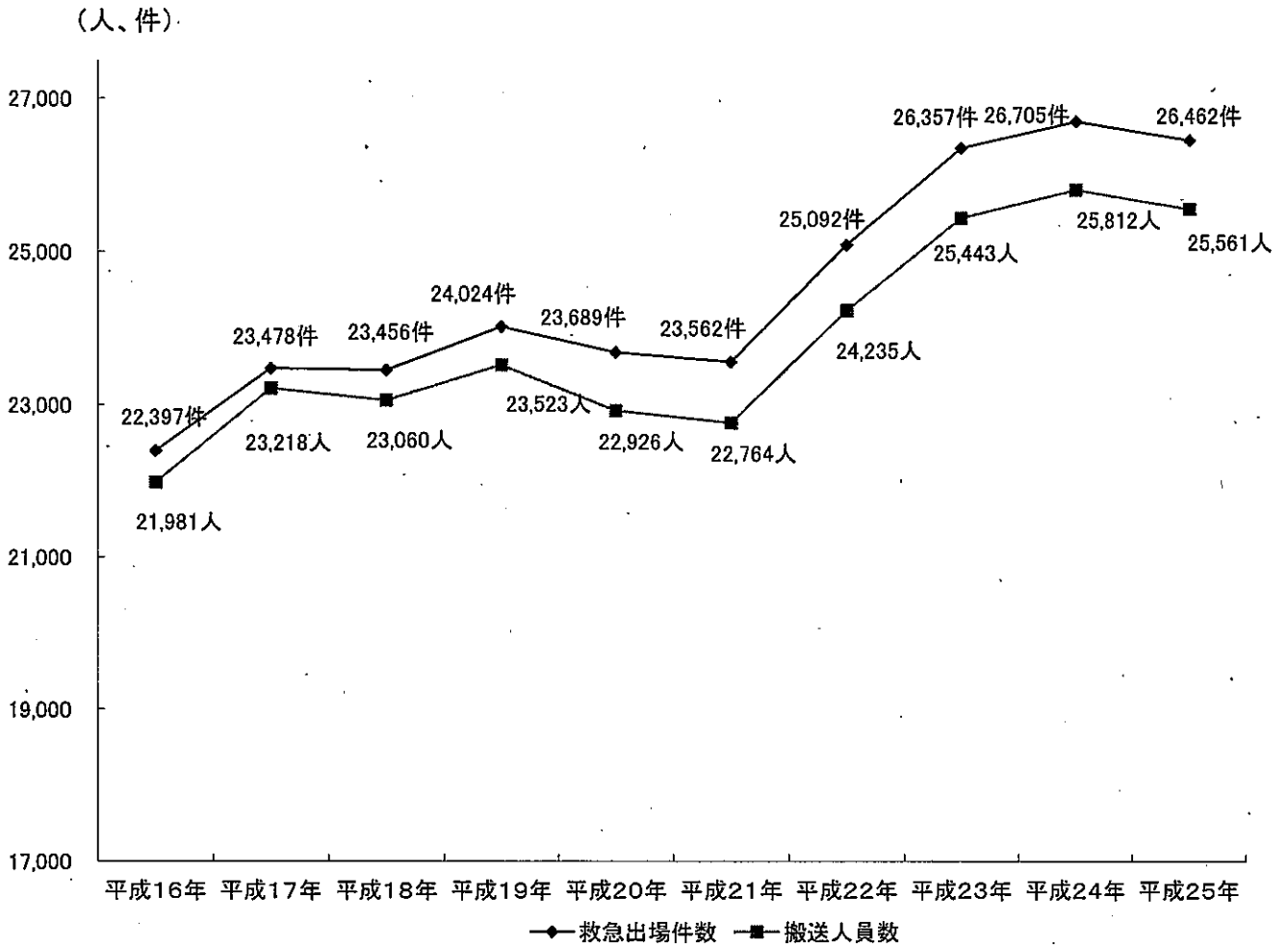
	合計	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自行損傷	急病	その他
救急出場件数	26,462	88	1	50	2,852	241	216	3,855	84	278	15,820	2,977
搬送人員	25,561	34	1	31	3,300	239	220	3,696	77	177	14,968	2,818

第4表 高速自動車道における救急活動状況表

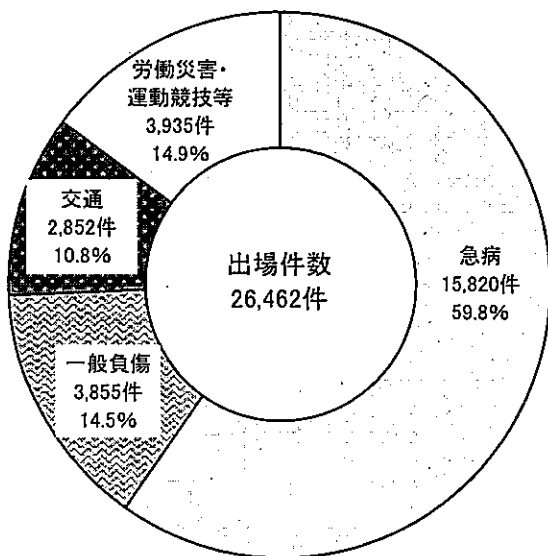
(平成25年中)

高速道路名	北 陸 自 動 車 道										舞鶴若狭自動車道	計
担当消防本部名	嶺北消防組合消防本部		福井市消防局		鯖江・丹生消防組合消防本部		南越消防組合消防本部		敦賀美方消防組合消防本部		若狭消防組合消防本部	
I C 名	金津	丸岡	福井北	福井	鯖江	武生	今庄	敦賀	小浜	大飯高浜		
救急出動数	8	13	5	2	10	12	30	13	3	1		97
搬送人員	9	13	3	7	10	15	35	12	3	2		109

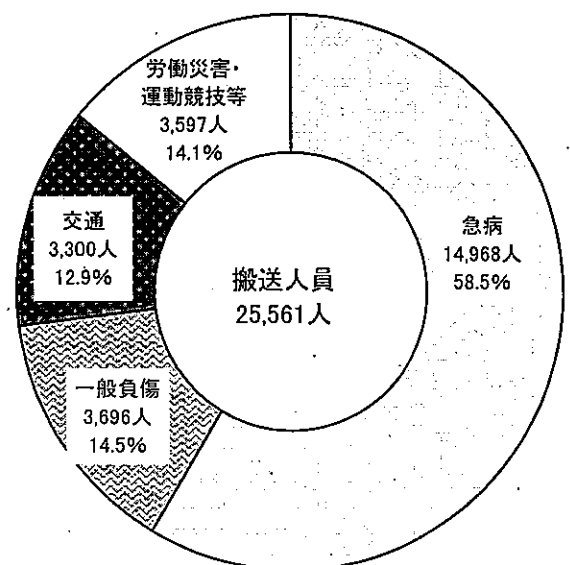
第1図 過去10年間の救急活動の推移



第2図 出場件数の事故種別内訳



第3図 搬送人員の事故種別内訳



## 第4章 予防行政の概況

### 1 防火対象物定期点検報告制度

不特定多数の人が出入りするなど一定の防火対象物について、所有者や賃借人等のうち管理について権原を有する人が、火災予防のために資格者による定期点検を行い、その結果を消防機関へ報告する制度である。

この制度による平成25年4月1日から平成26年3月31日までの状況は第1表のとおりである。

第1表 防火対象物定期点検報告制度実施状況表

防火対象物の区分			点検を要する 防火対象物数		点検報告済 防火対象物数		特例認定済 防火対象物数	
			第1号該当	第2号該当	第1号該当	第2号該当	第1号該当	第2号該当
1	イ	劇場、映画館、演芸場または観覧場	33		12		10	
	ロ	公会堂または集会場	223		118		64	
2	イ	キャバレー、カフェー、ナイトクラブその他これらに類するもの						
	ロ	遊技場またはダンスホール	57		42		5	
	ハ	性風俗関連特殊営業を営む店舗等						
	ニ	カラオケボックス等	2		2			
3	イ	待合、料理店その他これらに類するもの	1	8		2		
	ロ	飲食店	11	44	7	9	1	
4		百貨店、マーケットその他の物品販売業を営む店舗または展示場	178	21	87	5	19	1
5	イ	旅館、ホテル、宿泊所その他これらに類するもの	42	84	16	29	19	24
6	イ	病院、診療所または助産所	38	7	18	2	13	5
	ロ	老人短期入所施設、養護老人ホーム、精神障害者社会復帰施設等	6	3	1		4	
	ハ	老人デイサービスセンター、老人福祉センター、精神障害者社会復帰施設（軽微）等	2	3		3	1	
	ニ	幼稚園または特別支援学校	1					
9	イ	公衆浴場のうち、蒸気浴場、熱気浴場その他これらに類する公衆浴場	6				2	
16	イ	複合用途防火対象物のうち、その一部が上記に該当する用途に供されているもの	203	54	97	7	37	2
16の2		地下街						
合計			803	224	400	57	175	32

【備考】

- ・点検報告済防火対象物とは、1年に1回、防火対象物点検資格者による点検報告が必要なもので、点検の結果、点検基準に適合していると認められた防火対象物。「防火基準点検済証」を表示することができる。
- ・特例認定済防火対象物とは、一定の要件を満たしているもので、申請によって点検報告の義務が3年間免除される防火対象物。「防火優良認定証」を表示することができる。
- ・第1号該当とは、収容人員が300人以上の防火対象物
- ・第2号該当とは、収容人員が30人以上300人未満の防火対象物で次の要件に該当する防火対象物
  - 特定用途部分が地階または3階以上に存するもの（避難階は除く）
  - 階段が2以上設けられていないもの
- ・調査基準日…平成26年3月31日  
防火対象物の区分については、消防法施行令別表第1は改正されているが（平成19年6月13日公布・平成21年4月1日施行）、調査基準日現在の内容で記載している。
- ・調査期間…平成25年4月1日～平成26年3月31日

## 2 消防設備士試験・講習の状況

消防設備士は、甲種・乙種合わせて851人の受験者に対して361人が合格し、合格率は

42.4%であった。その状況は第2表のとおりである。

また、免状所有者に対する義務講習は670人が受講した。その状況は第3表のとおりである。

### 第2表 消防設備士試験実施状況表

試験日：平成25年8月25日（日）

平成26年2月16日（日）

区 分	平成25年度								免状交付延べ数	
	受験者数（人）		合格人数（人）		合格率（%）		免状交付数			
	甲種	乙種	甲種	乙種	甲種	乙種	甲種	乙種	甲種	乙種
特 類	10		4		40.0%		4		15	
第 1 類	99	26	28	11	28.3%	42.3%	24	11	1,145	297
第 2 類	23	11	12	5	52.2%	45.5%	9	3	318	88
第 3 類	18	3	6	2	33.3%	66.7%	6	2	225	59
第 4 類	186	106	58	41	31.2%	38.7%	55	35	2,551	941
第 5 類	30	8	5	2	16.7%	25.0%	4	2	259	101
第 6 類		155		52		33.5%		45		1,881
第 7 類		176		135		76.7%		70		2,783
計	366	485	113	248	30.9%	51.1%	102	168	4,513	6,150

### 第3表 消防設備士義務講習実施状況表

区 分	受 講 対 象 者 区 分	受講者数（人）	実 施 年 月 日
消 火 設 備	(甲・乙)第1類,第2類,第3類 消防設備士	141	平成25年10月1日
避難設備・消火器	(甲・乙)第5類,(乙)第6類 消防設備士	174	平成25年10月2日
警 報 設 備	(甲・乙)第4類,(乙)第7類 消防設備士	355	平成25年10月10日、11日
合 計		670	

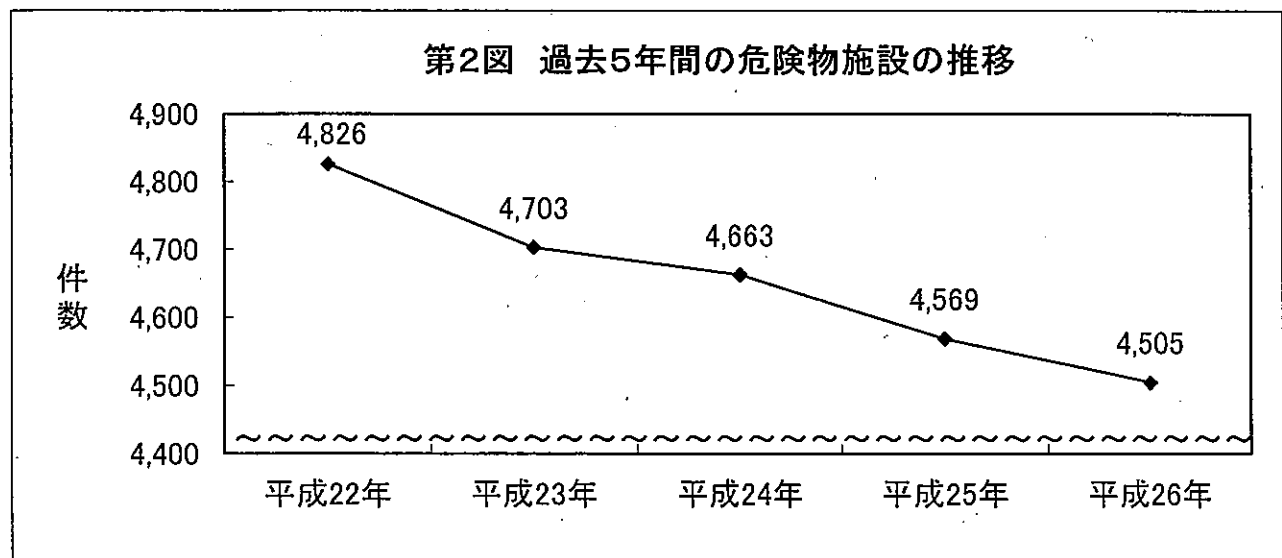
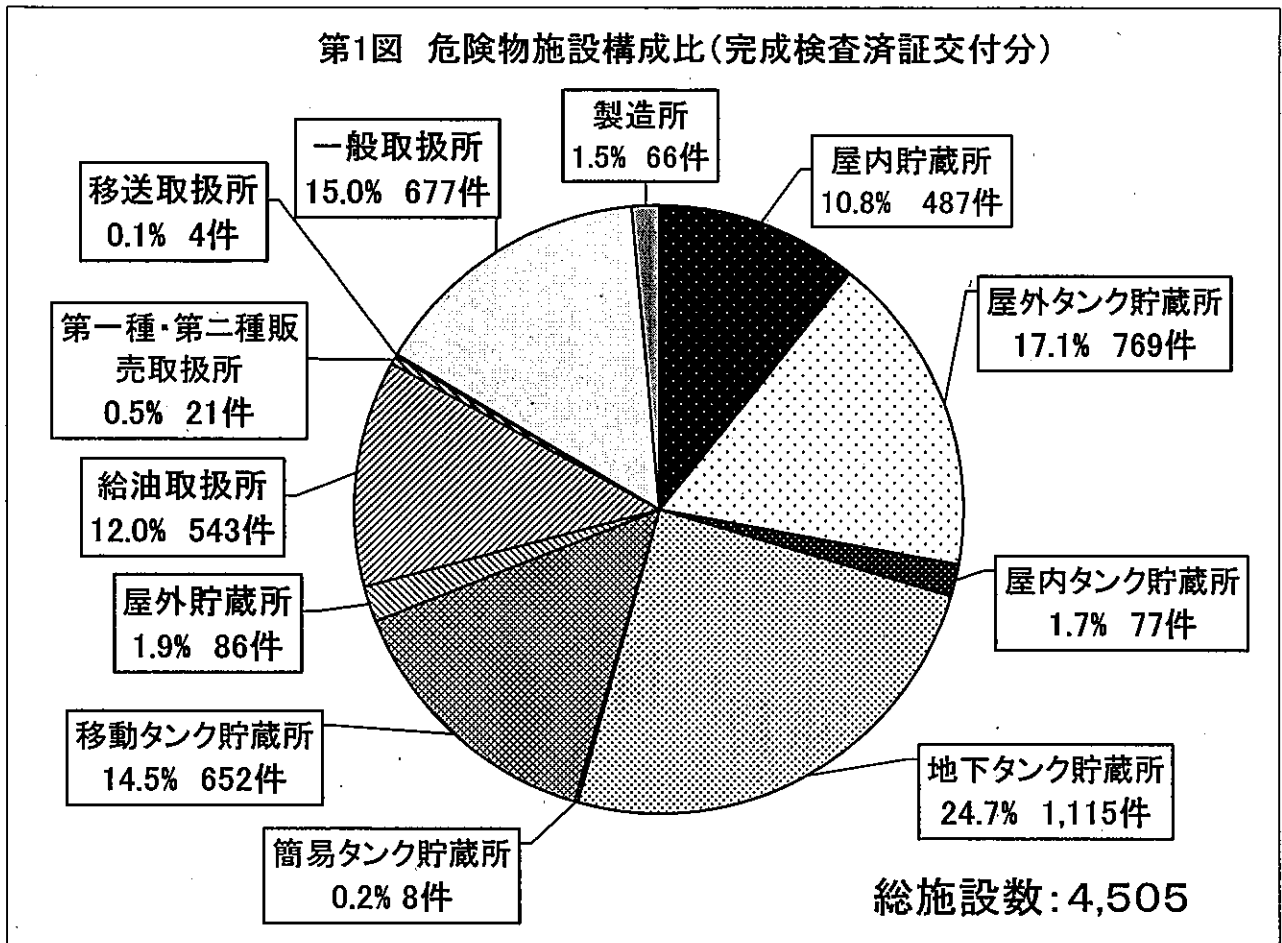
## 第5章 危険物規制

### 1 概況

(1) 危険物規制は、福井市、大野市、勝山市および永平寺町においては当該市町が、またその他の市町においてはそれぞれの加入する消防組合において行なわれている。

なお、県内の総施設数は第1図のとおりである。(平成26年3月31日現在)

(2) 危険物の総施設数の推移は第2図のとおり減少傾向であり、前年に対し64件減少している。



第1表 施設別危険物施設数

平成26年3月31日現在

危険物施設の別 消防(局)本部名	製 造 所 (A)	貯 蔵 所										取 扱 所					合 計 (A+B+C)	事 業 所	
		屋 内 貯 蔵 所	屋 外 タ ン ク 貯 蔵 所	準 特 定 屋 外 タ ン ク 貯 蔵 所		屋 内 タ ン ク 貯 蔵 所	地 下 タ ン ク 貯 蔵 所	簡 易 タ ン ク 貯 蔵 所	移 動 タ ン ク 貯 蔵 所	屋 外 貯 蔵 所	小 計 (B)	給 油 取 扱 所	第 一 種 販 売 取 扱 所	第 二 種 販 売 取 扱 所	移 送 取 扱 所	一 般 取 扱 所			小 計 (C)
				特 定 屋 外 タ ン ク 貯 蔵 所	準 特 定 屋 外 タ ン ク 貯 蔵 所														
福 井 市	18	116	191	5	20	30	299	1	188	20	845	139	11	1	1	144	296	1,159	597
大 野 市		8	19				63		36		126	26				29	55	181	109
勝 山 市	2	5	31			1	51		20	3	111	17				20	37	150	84
永 平 寺 町		8	6			2	24		15		55	9				14	23	78	46
嶺北消防組合	25	95	178	4	36	12	203	1	133	19	641	94			2	179	275	941	340
鯖江・丹生消防組合	5	61	78	1		7	128		45	9	328	48	4	4		61	117	450	302
南越消防組合	13	72	109			10	136	2	77	17	423	66				74	140	576	270
敦賀美方消防組合	1	66	112	8	8	12	130		82	15	417	93			1	95	189	607	230
若狭消防組合	2	56	45			3	81	4	56	3	248	51	1			61	113	363	159
合 計	66	487	769	18	64	77	1,115	8	652	86	3,194	543	16	5	4	677	1,245	4,505	2,137

- 注：1 貯蔵所および取扱所の区分は危険物の規制に関する政令の区分による（以下の表においても同様）。  
 2 本表には、設置を許可した施設のうち、完成検査済証を交付した施設数から廃止届を受理した施設数を除いた数を記載（以下の表においても同様）。  
 3 準特定屋外タンク貯蔵所には、屋外タンク貯蔵所のうち、貯蔵し、または取り扱う液体の危険物の最大数量が五百キリットル以上千キリットル未満のものを記載（以下の表においても同様）。  
 4 特定屋外タンク貯蔵所数は、屋外タンク貯蔵所のうち、貯蔵し、または取り扱う液体の危険物の最大数量が千キリットル以上のものを記載（以下の表においても同様）。  
 5 事業所数は、危険物施設を有する事業所の数を記載。

第2表 指定数量別・類別危険物施設数

平成26年3月31日現在

危険物施設の別 数量別・類別	製造所 (A)	貯蔵所										取扱所					合計 (A+B+C)		
		屋内貯蔵所	屋外タンク貯蔵所	準特定屋外タンク貯蔵所	特定屋外タンク貯蔵所	屋内タンク貯蔵所	地下タンク貯蔵所	簡易タンク貯蔵所	移動タンク貯蔵所	屋外貯蔵所	小計(B)	給油取扱所	第一種販売取扱所	第二種販売取扱所	移送取扱所	一般取扱所		小計(C)	
5倍以下	5	213	143			54	628	7	456	24	1,525	37	13			312	362	1,892	
5倍を超えて10倍以下	5	125	122			19	256	1	20	32	575	53	2			156	211	791	
10 " 50 "	32	87	260			4	179		37	26	593	144	1	5		130	280	905	
50 " 100 "	9	20	80				32		131	3	266	77				33	110	385	
100 " 150 "	3	24	36				12		7		79	60				16	76	158	
150 " 200 "		7	7	1	3		2			1	17	68				11	79	96	
200 " 1,000 "	12	9	55	13	3		6		1		71	104			1	12	117	200	
1,000 " 5,000 "		2	23	4	17						25					3	3	28	
5,000 " 10,000 "			4		2						4					2	2	6	
10,000倍を超えるもの			39		39						39				3	2	5	44	
合計	66	487	769	18	64	77	1,115	8	652	86	3,194	543	16	5	4	677	1,245	4,505	
単独	第1類		11								11							11	
	第2類	1	5								5					2	2	8	
	第3類		2								2					3	3	5	
	第4類	47	420	765	18	64	77	1,115	8	652	85	3,122	543	16	5	4	652	1,220	4,389
	第5類		22	2							24							24	
	第6類			2							2							2	
混在	18	27								1	28					20	20	66	
合計	66	487	769	18	64	77	1,115	8	652	86	3,194	543	16	5	4	677	1,245	4,505	

注：1 数量別の欄は、危険物施設で貯蔵または取り扱う危険物の最大数量（許可数量）を指定数量の倍数によって表したものである。

2 類別の欄の単独には、類を同じくする危険物のみを貯蔵または取り扱っている危険物施設の数、混在には、類を異にする危険物を貯蔵または取り扱っている危険物施設の数に記載。



第3表 危険物施設に対する立入検査状況

平成25年 4月 1日から  
平成26年 3月31日まで

危険物施設の別 消防(局)本部名		製 造 所 (A)	貯 蔵 所								取 扱 所					合 計 (A + B + C)	
			屋 内 貯 蔵 所	屋 外 タ ン ク 貯 蔵 所	屋 内 タ ン ク 貯 蔵 所	地 下 タ ン ク 貯 蔵 所	簡 易 タ ン ク 貯 蔵 所	移 動 タ ン ク 貯 蔵 所	屋 外 貯 蔵 所	小 計 (B)	給 油 取 扱 所	第 一 種 販 売 取 扱 所	第 二 種 販 売 取 扱 所	移 送 取 扱 所	一 般 取 扱 所		小 計 (C)
福 井 市	検査施設数	7	37	116	13	156	1	182	8	513	107	1		1	96	205	725
	延回数	14	43	121	14	183	1	188	9	559	136	2		1	118	257	830
大 野 市	検査施設数		2	3		13		33		51	7				6	13	64
	延回数		2	3		13		40		58	7				6	13	71
勝 山 市	検査施設数		1	1	1	21		19		43	3				4	7	50
	延回数		1	1	1	27		19		49	3				5	8	57
永 平 寺 町	検査施設数		8	6	2	22		23		61	8				14	22	83
	延回数		8	6	2	22		23		61	8				14	22	83
嶺北消防組合	検査施設数	23	60	146	9	153	1	117	16	502	82			2	140	224	749
	延回数	23	60	147	9	154	1	117	16	504	82			2	140	224	751
鯖江・丹生消防組合	検査施設数	5	20	58		20		47	7	152	2				29	31	188
	延回数	6	20	58		20		47	7	152	2				29	31	189
南越消防組合	検査施設数	7	4	10	1	9		87	2	113	11				23	34	154
	延回数	20	9	13	2	18		87	4	133	31				41	72	225
敦賀美方消防組合	検査施設数		10	29		71		78	4	192	46				25	71	263
	延回数		10	29		71		78	4	192	46				25	71	263
若狭消防組合	検査施設数	1	25	22	1	44	1	21	2	116	27				29	56	173
	延回数	1	25	22	1	44	1	21	2	116	27				29	56	173
合 計	検査施設数	43	167	391	27	509	3	607	39	1,743	293	1		3	366	663	2,449
	延回数	64	178	400	29	552	3	620	42	1,824	342	2		3	407	754	2,642

注：1 検査施設数の欄は、立入検査を行った施設数を危険物施設の区分ごとに記載。  
2 延回数の欄は、立入検査を行った延回数を危険物施設の区分ごとに記載。



第5表 危険物取扱者試験実施状況

種 別	区 分	平成22年度 合格 率 ( % )	平成23年度 合格 率 ( % )	平成24年度 合格 率 ( % )	平成25年度		
					受験者数 (人)	合格者数 (人)	合 格 率 ( % )
甲	種	30.5	28.5	22.8	287	79	27.5
乙	第 1 類	64.6	71.3	70.9	375	255	68.0
	第 2 類	72.6	71.1	74.3	288	196	68.1
	第 3 類	71.0	66.4	68.6	309	206	66.7
	第 4 類	34.8	38.6	67.1	3,091	1,048	33.9
	第 5 類	67.5	67.0	67.2	324	204	63.0
	第 6 類	66.8	64.9	35.8	404	267	66.1
	小 計	47.6	49.7	49.5	4,791	2,176	45.4
丙	種	62.8	54.6	53.9	526	289	54.9
合	計	48.5	49.4	48.9	5,604	2,544	45.4

第6表 危険物取扱者保安講習実施状況

講習種別	区 分	平成22年度 受講者数 (人)	平成23年度 受講者数 (人)	平成24年度 受講者数 (人)	平成25年度	
					受講者数 (人)	講習実施回 数 (回)
給 油 取 扱 所		406	432	423	414	7
石 油 コ ン ビ ナ ー ト		31	40	37	43	1
そ の 他		1,201	1,123	1,201	1,243	9
合	計	1,638	1,595	1,661	1,700	17

注：1 「給油取扱所」は、給油取扱所において危険物の取扱作業に従事している危険物取扱者を対象とした講習種別である。

2 「石油コンビナート」は、石油コンビナート等災害防止法上の特定事業所における危険物施設において危険物の取扱作業に従事する危険物取扱者を対象とした講習種別である。

3 「その他」は、「給油取扱所」および「石油コンビナート」以外の危険物施設において危険物の取扱作業に従事する危険物取扱者を対象とした講習種別である。

## 2. 危険物施設の火災・漏えい事故等

- (1) 過去5年間に於ける危険物の災害事故発生件数は、平成24年が15件と最も多い。  
 (2) 過去5年間の危険物施設別の災害事故発生件数は、一般取扱所での事故が16件と最も多い。

第7表 過去5年間の危険物施設における災害事故発生件数

年	危険物施設の別 内訳	製造所 (A)	貯蔵所							取扱所					その他 (D)	合計 (A+B+C+D)	
			屋内貯蔵所	屋外タンク貯蔵所	屋内タンク貯蔵所	地下タンク貯蔵所	簡易タンク貯蔵所	移動タンク貯蔵所	屋外貯蔵所	小計 (B)	給油取扱所	第一種販売取扱所	第二種販売取扱所	移送取扱所			一般取扱所
平成21年	火災	1							0						0		1
	漏えい					1		1	2					1	1		3
	その他								0					1	1		1
平成22年	火災	1							0					2	2		3
	漏えい								0	1				2	3		3
	その他								0						0		0
平成23年	火災								0					2	2		2
	漏えい							3	3	1				2	3		6
	その他								0						0		0
平成24年	火災								0					2	2		2
	漏えい			2		1		3	6	1				3	4		10
	その他								0	3				1	3		3
平成25年	火災								0					1	1		1
	漏えい					2		1	3						0		3
	その他							1	1						0		1
火災計		2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	7	0	9
漏えい計		0	0	2	0	4	0	8	14	3	0	0	0	8	11	0	25
その他計		0	0	0	0	0	0	1	1	3	0	0	0	1	4	0	5
総計		2	0	2	0	4	0	9	15	6	0	0	0	16	22	0	39

注：1 危険物施設の別の「その他」には、危険物運搬中の事故または無許可の危険物施設など、許可を受けている危険物施設以外での事故件数を記載。

## 第6章 消 防 の 概 要

### 1 消防の組織〈消防機関と人員〉

昭和23年消防組織法施行後、市町村消防の原則が確立され、昭和48年7月1日大野地区消防組合が発足したことにより、県下全域にわたり消防の常備化が実現した。消防吏員は平成26年4月1日現在で1,188名である。

また、消防団員数は平成26年4月1日現在で5,720名であるが、近年の社会経済情勢の変化の影響を受けて、団員数の減少、サラリーマン団員の増加等の課題に直面しており、消防団の充実強化を一層推進することが必要である。

### 2 消防施設

#### (1) 消防機械

消防機械の保有状況は第8表および第9表のとおりであるが、特に近年の救急需要の増加に伴い、各消防本部とも高規格救急自動車の導入を推進している。これにより、高度な救急処置を実施することができ、救命率の向上を図っている。

#### (2) 消防水利

消防水利は、消防機械とともに、火災鎮火のために重要不可欠なものである。

これについては、消防に必要な水利の確保と管理のため「消防水利の基準」が定められ、その基準に適合したものを消防水利としている。消防水利には、消火栓、防火水槽、プール等の人工水利と河川等の自然水利があり、その保有状況は第11表のとおりである。

### 3 民間防火組織

#### (1) 幼年消防クラブ

幼年消防クラブは、幼年期における防火教育の重要性、防火活動を通じての正しい社会的態度の養成の必要性などの観点からはじめられたもので、幼稚園、保育園の指導者を中心に消防機関の協力を得て幼年消防活動を行うことにより、父母兄弟や近隣住民に対する防火思想の普及も効果的に図られている。

#### (2) 少年消防クラブ

少年消防クラブは、少年のころから火災予防に関する知識を身に付け、学校や各家庭における火災防止を図るとともに、火に関する諸原理を実際に即して勉強し、学校教育としての社会科、理科および家庭科の学習の補助を目的とするものであって、昭和25年に少年消防クラブ取扱要綱が制定され、続いて昭和28年に「全国少年消防クラブ運営指導協議会」（会長：消防庁長官）が設けられ、今日に至っている。

### (3) 女性防火クラブ

女性防火クラブは、家庭において火を使用する機会の多い婦人を対象に、火災予防の知識を養うことが必要であることから、任意に結成されたものであり、消防職団員の指導をもとに各家庭の防火診断、火災の初期活動等、女性による防火活動は重要な役割を果たしている。

## 4 表 彰

消防職員または消防団員の士気高揚を図るとともに、地域住民の消防に対する正しい認識と円滑な協力援助関係を確立するため、消防に関して功労のあった消防団員、消防機関その他の団体または個人に対し、各種表彰を行っている。

また、昭和58年より新たに県知事の定例表彰の中で、30年以上勤続の消防団員の配偶者等も表彰することにした。

第1表 消防職団員数の推移(各年4月1日現在)

区分	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46
消防職員数	150	163	203	201	231	227	262	257	268	293	328	351	354	372	381	421	461	521	594
消防団員数	11,835	10,701	8,487	8,275	8,091	7,342	7,174	7,147	7,118	6,744	6,759	6,731	6,751	6,754	6,491	6,388	6,303	6,191	6,019

47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	平成元	2	3	4
693	743	785	785	832	851	872	895	922	937	950	974	974	982	982	983	999	1,009	1,010	1,032	1,052
5,814	5,703	5,647	5,635	5,633	5,623	5,629	5,616	5,549	5,623	5,616	5,608	5,588	5,549	5,545	5,485	5,471	5,453	5,437	5,488	5,492

5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25
1,090	1,101	1,119	1,141	1,162	1,169	1,183	1,186	1,190	1,188	1,190	1,193	1,192	1,190	1,189	1,184	1,183	1,180	1,192	1,196	1,189
5,497	5,519	5,502	5,533	5,523	5,518	5,497	5,499	5,483	5,460	5,436	5,439	5,442	5,406	5,411	5,411	5,480	5,560	5,656	5,688	5,661

26
1,188
5,720

第2表 消防機関の現況

区 分		平成25年4月(B)	平成26年4月(B)	増減(B-A)
消防本部・署	消防本部数	9	9	0
	消防署数	19	19	0
	出張所数	31	31	0
	消防職員数	1,189	1,188	△1
消防団	消防団数	18	18	0
	分団数	236	237	1
	消防団員数	5,661	5,720	59

第3表 消防の概況

平成26年4月1日現在

区分 消防(局)本部名	消防本部・署所					消防団					消防水利			基地局および固定局 移動局						
	設置別	消防署数	出張所数	消防実員数	普通消防ポンプ自動車数	水槽付消防ポンプ自動車数	消防団数	分団数	消防団常備部数	計	常勤	非常勤	普通消防ポンプ自動車数		小型動力ポンプ付積載車	積載していない車両	積載している車両	消火栓(公設)	防火水槽	
																				消防本部のみ設置
福島市	○	4	16	348	22	3	1	53		974	974		2	31	42	42	9,454	816	31	
大野市		1	1	55	4		1	10		480	480		10	22	2	2	397	268	26	
勝山市		1		37	2	1	1	12		284	284		3	10			247	196	14	
永平寺町		1	1	37	1	2	1	11		273	273		9	12			177	252	11	
嶺北消防組合		4	2	191	6	4	2	36		739	739		36	12			1,390	1,198	129	
鯖江・丹生消防組合		1	4	109	5	1	2	38		577	577		30	9	3	3	1,182	854	47	
南越消防組合		3	2	139	6	4	3	30		753	753		17	24			2,473	686	34	
敦賀美方消防組合		3	1	151	3	4	3	18		746	746		23	28			1,232	213	168	
若狭消防組合		1	4	121	7	3	4	29		894	894		9	37	57	57	1,046	491	56	
計	1	8	31	1,188	56	22	18	237	0	5,720	0	5,720	139	185	104	104	17,598	4,974	516	
																				46
																				611

第4表 階級別消防職員数

平成26年4月1日現在

区分	消防職員										その他の職員			条 例 定 数	
	消防 司 監	消防 正 監	消防 監	消防 司 令 長	消防 司 令	消防 司 令 補	消防 士 長	消防 副 士 長	消 防 士	小 計 (B)	事 務 職 員	技 術 職 員	單 純 勞 務 職 員		小 計 (C)
消防(局)本部名															
福井市	1 ( )	4 ( )	24 ( )	80 ( )	80 ( )	80 ( )	67 ( 1 )	33 ( 1 )	59 ( 2 )	348 ( 4 )	18 ( 1 )	( )	( )	18 ( 1 )	356
大野市	( )	1 ( )	6 ( )	9 ( )	9 ( )	14 ( )	10 ( )	5 ( )	10 ( 1 )	55 ( 1 )	( )	( )	( )	( 0 )	55
勝山市	( )	1 ( )	5 ( )	4 ( )	4 ( )	8 ( )	7 ( )	2 ( 1 )	10 ( )	37 ( 1 )	( )	( )	( )	( 0 )	38
永平寺町	( )	1 ( )	5 ( )	4 ( )	4 ( )	12 ( )	6 ( )	2 ( )	7 ( )	37 ( 0 )	( )	( )	( )	( 0 )	45
嶺北消防組合	( )	1 ( )	9 ( )	36 ( )	36 ( )	36 ( )	36 ( )	32 ( )	40 ( )	191 ( 0 )	4 ( 4 )	( )	( )	4 ( 4 )	206
鯖江・丹生消防組合	( )	( )	7 ( )	21 ( )	28 ( 2 )	28 ( )	19 ( )	14 ( )	19 ( 1 )	109 ( 3 )	3 ( 1 )	( )	( )	3 ( 1 )	113
南越消防組合	( )	( )	11 ( )	24 ( )	50 ( 3 )	50 ( )	15 ( 0 )	15 ( )	23 ( 1 )	139 ( 4 )	2 ( )	( )	( )	2 ( 0 )	145
敦賀美方消防組合	( )	( )	16 ( )	22 ( )	25 ( )	25 ( )	25 ( )	17 ( )	45 ( )	151 ( 0 )	4 ( 3 )	( )	( )	4 ( 3 )	156
若狭消防組合	( )	( )	7 ( )	20 ( )	24 ( )	24 ( )	23 ( )	11 ( 1 )	35 ( 1 )	121 ( 2 )	1 ( )	( )	( )	1 ( 0 )	130
計	0 ( 0 )	2 ( 0 )	90 ( 0 )	220 ( 0 )	277 ( 5 )	277 ( 5 )	208 ( 1 )	131 ( 3 )	248 ( 6 )	1,188 ( 15 )	32 ( 9 )	0 ( 0 )	0 ( 0 )	32 ( 9 )	1,244

注: 下段の( )は、女性職員の内数



第5表 階級別非常勤消防団員数

平成26年4月1日現在

階級別 消防(局)本部	合計	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員	条例定数
福井市	974 (9)	5 ( )	4 ( )	52 ( )	52 ( )	97 ( )	98 (1)	666 (8)	1,011
大野市	480 (100)	1 ( )	2 ( )	10 (1)	12 (2)	37 (3)	72 (6)	346 (88)	485
勝山市	284 (24)	1 ( )	2 ( )	12 ( )	12 ( )	25 (1)	34 (2)	198 (21)	299
永平寺町	273 (25)	1 ( )	2 ( )	16 (1)	10 ( )	( )	32 (2)	212 (22)	315
嶺北消防組合	739 (26)	2 ( )	8 ( )	36 ( )	52 ( )	2 (2)	65 (3)	574 (21)	773
鯖江・丹生消防組合	577 (16)	2 ( )	5 ( )	37 ( )	33 ( )	( )	83 ( )	417 (16)	627
南越消防組合	753 (8)	3 ( )	8 ( )	30 ( )	30 ( )	( )	78 ( )	604 (8)	841
敦賀美方消防組合	746 (26)	3 ( )	4 ( )	18 ( )	18 ( )	51 ( )	85 ( )	567 (26)	746
若狭消防組合	894 (7)	4 ( )	6 ( )	29 ( )	21 ( )	58 ( )	100 (1)	676 (6)	894
計	5,720 (241)	22 (0)	41 (0)	240 (2)	240 (2)	270 (6)	647 (15)	4,260 (216)	5,991

注: 下段の( )は、女性団員の内数

第6表 年齢別消防吏員・消防団員数

平成26年4月1日現在

年齢別 消防(局)本部名	消 防 吏 員										消 防 団 員															
	(A)のうち										(C)のうち															
	18歳 〜 19歳	20歳 〜 24歳	25歳 〜 29歳	30歳 〜 34歳	35歳 〜 39歳	40歳 〜 44歳	45歳 〜 49歳	50歳 〜 54歳	55歳 〜 59歳	60歳 〜 64歳	65歳 以上	18歳 〜 19歳	20歳 〜 24歳	25歳 〜 29歳	30歳 〜 34歳	35歳 〜 39歳	40歳 〜 44歳	45歳 〜 49歳	50歳 〜 54歳	55歳 〜 59歳	60歳 〜 64歳	65歳 以上				
	吏員数 (A)	118	123	181	104	195	180	105	122	145	45,877	7	128	378	751	1,202	1,087	794	618	453	241	61	年齢合計 (D)	241,530	平均年齢 (C)	42.2
	平均年齢 (A)	33	123	181	104	195	180	105	122	145	45,877	7	128	378	751	1,202	1,087	794	618	453	241	61	年齢合計 (D)	241,530	平均年齢 (C)	42.2
	年齢合計 (B)	1,188	1,230	1,811	1,044	1,951	1,800	1,055	1,222	1,450	45,877	7	128	378	751	1,202	1,087	794	618	453	241	61	年齢合計 (D)	241,530	平均年齢 (B)	42.2
	平均年齢 (B)	33	123	181	104	195	180	105	122	145	45,877	7	128	378	751	1,202	1,087	794	618	453	241	61	年齢合計 (D)	241,530	平均年齢 (B)	42.2
	年齢合計 (A)	1,188	1,230	1,811	1,044	1,951	1,800	1,055	1,222	1,450	45,877	7	128	378	751	1,202	1,087	794	618	453	241	61	年齢合計 (D)	241,530	平均年齢 (A)	42.2
	平均年齢 (A)	33	123	181	104	195	180	105	122	145	45,877	7	128	378	751	1,202	1,087	794	618	453	241	61	年齢合計 (D)	241,530	平均年齢 (A)	42.2
福井市	348	4	28	47	21	51	47	44	45	61	14,452	1	12	22	70	146	160	161	156	134	88	24	年齢合計 (D)	45,562	平均年齢 (C)	46.8
大野市	55	1	5	6	6	6	10	6	5	10	2,235	2	7	39	85	82	69	63	64	27	3	年齢合計 (D)	21,120	平均年齢 (C)	44.0	
勝山市	37		3	7	2	7	10	2	5	1	1,423		3	17	50	47	32	56	41	8		年齢合計 (D)	12,588	平均年齢 (C)	44.3	
永平寺町	37	1	4	4	1	11	5	3	4	4	1,441		29	9	62	57	38	26	19	8	2	年齢合計 (D)	11,185	平均年齢 (C)	41.0	
嶺北消防組合	191	5	21	32	20	27	36	21	12	17	7,125		7	30	140	159	136	101	57	31	8	年齢合計 (D)	32,449	平均年齢 (C)	43.9	
鯖江・丹生消防組合	109	2	9	21	11	21	19	6	10	10	4,080		17	45	108	129	164	60	33	14	4	年齢合計 (D)	22,419	平均年齢 (C)	38.9	
南越消防組合	139	4	13	17	8	28	24	10	19	16	5,485		6	31	61	118	151	107	75	44	11	年齢合計 (D)	33,886	平均年齢 (C)	45.0	
敦賀美方消防組合	151	6	24	25	24	30	13	5	7	17	5,324	3	25	80	165	190	99	58	41	45	30	10	年齢合計 (D)	29,220	平均年齢 (C)	39.2
若狭消防組合	121	10	16	22	11	14	16	8	15	9	4,312	1	22	105	185	282	168	91	35	4	1	年齢合計 (D)	33,101	平均年齢 (C)	37.0	
計	1,188	33	123	181	104	195	180	105	122	145	45,877	7	128	378	751	1,202	1,087	794	618	453	241	61	年齢合計 (D)	241,530	平均年齢 (C)	42.2

注:18歳〜19歳の欄は18歳未満含む。

第7表 在職年数別消防吏員および消防団員数

平成26年4月1日現在

年数別 消防(局)本部名	消 防 団 員														
	消 防 吏 員				非 常 勤 団 員										
	合 計	5 年 未 満	5 10 年 未 満	10 15 年 未 満	15 20 年 未 満	20 25 年 未 満	25 30 年 未 満	30 年 以 上							
福 井 市	348	60	25	35	36	47	45	100	298	160	141	124	110	71	70
大 野 市	55	8	6	5	9	5	6	16	166	95	55	49	51	25	39
勝 山 市	37	5	6	3	6	7	5	5	63	55	50	46	36	29	5
永 平 寺 町	37	7	2	3	6	9	1	9	120	54	34	36	21	5	3
嶺 北 消 防 組 合	191	40	28	18	22	34	19	30	163	176	127	122	75	48	28
鯖 江 ・ 丹 生 消 防 組 合	109	24	12	10	23	12	7	21	185	132	128	76	40	14	2
南 越 消 防 組 合	139	26	15	7	23	24	12	32	158	152	129	118	115	51	30
敦 賀 美 方 消 防 組 合	151	40	24	20	18	20	6	23	294	210	109	49	41	32	11
若 狭 消 防 組 合	121	34	14	12	15	13	7	26	321	254	159	96	39	19	6
計	1,188	244	132	113	158	171	108	262	1,768	1,288	932	716	528	294	194

第8表 消防ポンプ自動車等現有数(消防本部・署)

平成26年4月1日現在

区分	消防本部・署 現有													その他車両								
	普通消防ポンプ自動車	水槽付消防ポンプ自動車	はしご付消防ポンプ自動車 (ポンプ付でないものを含む)	消防ポンプ自動車 折はしご	大型高所放水車	泡原液搬送車	化学消防ポンプ自動車	指揮車	照明車	積載車 小型動力ポンプ 積載車 小型動力ポンプ	広報車	資機材搬送車	屈折放水塔車		水槽車	支援車	人員搬送車	防災指導車	救急自動車	救助工作車		
消防(局)本部名																						
福井市消防局	22	3	2	1	1	1	1	3	5		7	4	1		1	2		10 (10)	2		5	
大野市消防本部	4					1		1	1		3	2						4 (4)	1			
勝山市消防本部	2	1	1			1						1						3 (3)	1		1	
永平寺町消防本部	1	2							2		2							3 (2)	1			
嶺北消防組合	6	4						1	5		7	5			1			9 (9)	4		5	
鯖江・丹生消防組合	5	1							2		1							6 (6)	1			
南越消防組合	6	4	1					2	3			5			1			8 (7)	3			
敦賀美方消防組合	3	4	1					3	1		3	5			1			6 (6)	2		7	
若狭消防組合	7	3						1	1		6	2						6 (6)	1		4	
計	56	22	4	2	4	3	1	17	20	0	1	26	1	3	4	2	55 (53)	16		22		

注:救急自動車の( )書きは高規格救急自動車で内数。

第9表 消防ポンプ自動車等現有数（消防団）

平成26年4月1日現在

種別 消防(局)本部名	消防団現有			
	普通消防ポンプ自動車	水槽付消防ポンプ自動車	小型動力ポンプ	
			小型動力ポンプ付積載車	車両に積載していないもの
福井市	2		31	42
大野市	10		22	2
勝山市	3		10	
永平寺町	9		12	
嶺北消防組合	36		12	
鯖江・丹生消防組合	30		9	3
南越消防組合	17		24	
敦賀美方消防組合	23		28	
若狭消防組合	9		37	57
計	139	0	185	104

第10表 化学消火薬剤備蓄状況

平成26年4月1日現在

種別	計		化学消火剤種別									
	(A)	(B)	たん臼系		合成界面	水成膜泡	水溶性液体用泡	粉末(kg)				
	(kg) (7)~(才)	(kg) (才)~(ヶ)	3%型 (kl) (7)	6%型 (kl) (イ)	活性剤 (kl) (ウ)	消火薬剤 (kl) (エ)	消火薬剤 (耐アルコール用) (kl) (オ)	第1種 粉末 (才)	第2種 粉末 (キ)	第3種 粉末 (ク)	第4種 粉末 (ケ)	
消防(局)本部名												
福井市	14.53	0.00	9.71	0.88	1.40	2.20	0.34					
大野市	1.83	0.00			1.83							
勝山市	0.86	0.00			0.86							
永平寺町	0.50	0.00			0.50							
嶺北消防組合	28.70	0.00	4.90		10.20	10.00	3.60					
鯖江・丹生消防組合	2.05	0.00			1.41	0.64						
南越消防組合	3.64	0.00			0.68	2.96						
敦賀美方消防組合	4.35	0.00	0.87		2.70	0.52	0.26					
若狭消防組合	0.79	0.00			0.79							
計	57.25	0.00	15.48	0.88	20.37	16.32	4.20	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00



第12表 消防機関の出動状況

平成25年中

区分	種別	果計		火災	風水害等の災害	演習訓練	広報指導	警防調査	火災原因調査	特別警戒	捜索	予防	誤報等	その他
		(ア)~(イ)	(ロ)	(ハ)	(ニ)	(ホ)	(ヘ)	(ト)	(チ)	(リ)	(ケ)	(コ)	(ク)	(コ)
消防本部・署所	出動回数	22,115	281	72	2,746	3,168	4,626	263	996	10	8,780	48	1,125	
	出動延人数	86,740	3,496	321	11,314	27,341	11,618	1,516	3,202	90	23,069	653	4,120	
消防団	出動回数	3,773	181	44	1,292	176	4	0	468	0	0	9	1,599	
	出動延人数	38,546	3,091	726	19,699	2,593	351	0	5,715	0	0	36	6,335	

第13表 消防吏員・団員の公務による死傷者数

平成25年中

区分	種別	果計		火災	救急業務	風水害等の災害	演習訓練	特別警戒	捜索	その他
		(ア)~(イ)	(ロ)	(ハ)	(ニ)	(ホ)	(ヘ)	(ト)	(チ)	(リ)
消防吏員	死者	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	負傷者	7	1	1	0	4	0	1	0	0
消防団	死者	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	負傷者	0	0	0	0	0	0	0	0	0



第14表 火災通報施設等の現況

平成26年4月1日現在

区分	火災報知機			テレビ監視装置 (基)	望楼			電話				救急指令装置		
	受信機 (基)	発信機			小計 (ウ)+(エ) (基)	24時間 監視体制 をとっている もの (ウ) (基)	その他 (エ) (基)	火災報知 専用電話 (オ) (回線)	消防機関にあるもの		救急指令専用	消防 指令装置と併用		
		小計 (ア)+(イ) (基)	公衆用 (ア) (基)						自衛用 (イ) (基)	小計 (カ)+(カ+キ) (回線)			消防電話 1ヶ月あた りの経費 (カ) (千円)	加入電話 (キ) (回線)
消防(局)本部名														
福井市	0			0			14	99	160	40			1	
大野市	0			1			13	2	5	24				
勝山市	0			0			6			7				
永平寺町	0			0			12	1	15	8				
嶺北消防組合	0			0			14			35				
鯖江・丹生消防組合	0			0			13	5	223	37			1	
南越消防組合	0			0			16	2	6	29				
敦賀美方消防組合	0			0			11	4	189	23				
若狭消防組合	0			1			12	8		9				
計	0	0	0	2	0	0	111	121	598	212	0	0	2	

第15表 無線通信施設の現況

平成26年4月1日現在

種別 消防(局)本部名	消防・救急業務用無線													
	固定局			基地局および携帯基地局						航空局	移動局			
	局数		局 その 他の 電波 の 数	局数		電波の数				局 数	陸 上 移 動 局 数	携 帯 局 数	そ の 他	
	多 重	そ の 他		基 地 局	携 帯 基 地 局	全 国 共 通 波	県 内 共 通 波	その他						
						単 信 波	複 信 波							
福井市	2			7		3	1	3	1			136		
大野市				2		1	1	1				13		
勝山市		1	1	1			1	2				42		
永平寺町				3		1	1					26		
嶺北消防組合				5		3	1	3				49	41	
鯖江・丹生消防組合				3		3	1	2	1			31	22	
南越消防組合		7	1	7		3	1	2				43	45	
敦賀美方消防組合				3		3	1	1				85		
若狭消防組合				5		3	1	2				33	45	
計	2	8	2	36	0	20	9	16	2	0		458	153	0

第16表 幼年消防クラブの現況

平成26年4月1日現在

種別	組織別クラブ数					組織別クラブ員数					指導者数					
	計	幼稚園 保育園 単位	学校 単位	市町村 単位	地区 単位	その他	計	幼稚園 保育園 単位	学校 単位	市町村 単位	地区 単位	その他	計	幼稚園 保育園 単位	学校 単位	その他
消防(局)本部名																
福井市	2	2					52	52					2	2		
大野市	18	18					1,033	1,033					18	18		
勝山市	13	13					535	535					174	174		
永平寺町	10	10					720	720					55	55		
嶺北消防組合	56	56					3,965	3,965					57	57		
鯖江・丹生消防組合	42	42					1,510	1,510					104	104		
南越消防組合	43	43					899	899					43	43		
敦賀美方消防組合	35	35					3,031	3,031					35	35		
若狭消防組合																
計	219	219	0	0	0	0	11,745	11,745	0	0	0	0	488	488	0	0

第17表 少年消防クラブの現況

平成26年4月1日現在

種別	組織別クラブ数				組織別クラブ員数				指導者数			
	学校単位		市町村単位	地区単位	計	学校単位		市町村単位	地区単位	計	学校単位	
	小学校	中学校				小学校	中学校				小学校	中学校
消防(局)本部名												その他
福井市	50				2,348	2,348				56	56	
大野市	15	5			445	362	83			14	10	4
勝山市	17	3	4	10	1,229	399		96	734	50	6	44
永平寺町	13			13	233				233	30		30
嶺北消防組合	29				912	912				32	32	
鯖江・丹生消防組合	20				2,765	2,765				121	121	
南越消防組合	21				1,011	1,011				21	21	
敦賀美方消防組合	14				340	340				14	14	
若狭消防組合	0				0					0		
計	179	147	5	23	9,283	8,137	83	96	967	338	260	74

第18表 女性防火クラブの現況および活動状況

平成26年4月1日現在

種別	合計		周囲の状況						活動状況別組織数				
	組織数 (ア)+(イ)+(ウ)+(エ)	人員 (カ)+(キ)+(ク)+(ケ)	市街地		農山村地域		漁村地域		その他 組織数	人員	消火活動を行う	消火活動は行わないが、炊き出し、連絡、救護等を行う	(a)(b)は行わず、予防の啓蒙活動を行っている
			組織数 (ア)	人員 (カ)	組織数 (イ)	人員 (キ)	組織数 (ウ)	人員 (ク)					
消防(局)本部名													
福井市	19	1,522	6	439	11	623	2	460			9		10
大野市	10	244			10	244					8	1	1
勝山市	10	290	3	150	7	140				10			
永平寺町	1	18	1	18									1
嶺北消防組合	2	672	2	672									2
鯖江・丹生消防組合	23	2,451	8	1,114	12	546	3	791			12		11
南越消防組合	23	259	13	136	10	123					23		
敦賀美方消防組合	77	3,153	16	1,991	50	1,021	11	141			69	8	
若狭消防組合	18	264			10	198	8	66			18		
計	183	8,873	49	4,520	110	2,895	24	1,458	0	0	149	9	25

第19表 消防表彰受賞状況

種 類		年 度														
		12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	
叙 勲		10	10	10	15	22	19	19	21	23	24	23	22	21	22	
藍 綬 褒 章									4		1				3	
消 防 庁 長 官 表 彰	功 勞 章	2	2	2	1	2	2	1	2	2	1	2	1	2	2	
	永年勤続功労章	18	19	19	16	19	21	21	20	20	20	21	21	21	21	
	表 彰 旗	1	1													
	竿 頭 綬	1													1	
	消防団地域活動	消 防 団		1	1			1	1			1	1	1	1	1
		事 業 所				1				1		1	1	1		
	少年消防クラブ	表 彰 旗	1			1			1				1			1
		表 彰 楯	1		1	1		2		1	2	1		1	1	
		指 導 者														
	福 井 県 知 事 表 彰	功 勞 章		39	38	38	39	37	38	40	40	40	40	40	40	40
永年勤続精績章		114	144	114	112	119	137	129	117	154	141	142	155	152	154	
銀 杯		30 年 以 上														
		退職10~15年未満	77	74	85	64	63	66	59	58	66	75	66	70	67	71
感 謝 状		退 職 幹 部	9	25	22	19	10	30	14	23	23	24	24	22	22	33
		人 命 救 助 そ の 他														
		夫 人 表 彰	23	27	31	30	19	20	27	29	26	22	36	33	28	26
竿 頭 綬						7										
特 別 功 勞 章																

## 第7章 消防教育訓練

### 1 消防学校の概要

#### (1) 沿革

昭和34年7月16日 福井市水越町に福井県消防学校設置。  
 昭和47年11月1日 福井市合谷町へ移転。  
 平成8年4月1日 福井市大畑町へ再移転、現在に至る。

#### (2) 施設概要

ア 所在地等 (ア) 所在地 福井市大畑町97-21-3  
 (イ) 敷地面積 40,759.02㎡

イ 建物工作物等

#### 建物構造および規模

・ 敷地面積 40,759.02㎡ ・ 建物延面積 8,001.62㎡

名称	規模・構造	延べ面積(㎡)	内 容
教育管理棟 宿泊施設(3階)	RC造3階	3,249㎡	1階 校長室 講師控室 職員室 会議室 防災倉庫 2階 普通教室(60人)(40人) 談話室 図書室 視聴覚室 3階 理化学室(各種実習室併設) 等 寮室(20室) トレーニングルーム 娯楽室
体育館	鉄骨造2階建	2,106.25㎡	1階 食堂 学生ホール 和室 倉庫 2階 アリーナ
雨天訓練場	鉄骨平屋建	1,091.22㎡	訓練場(救助、ポンプ操法訓練施設) 訓練資器材庫 訓練車両庫
訓練塔(主)	SRC造 地下1階建 地上8階建	594.84㎡	立坑訓練室 耐煙迷路室 消火設備実験室 垂直救助訓練 水平ロープ渡過 ブリッジ救出訓練施設 放水訓練室 水平救助・担架吊り下げ救出訓練施設 梯子車注水訓練室 積載梯子上救出訓練施設 梯子車進入訓練室 高所活動・人命検索訓練施設 救助袋等避難器具取扱訓練室 地下火災実験室
訓練塔(補助)	鉄骨造 地上7m	A塔 70.44㎡ B塔 32.86㎡	人命救助訓練施設 引上救助訓練施設 中高層建物防御訓練施設 斜め救助訓練施設 障害突破 垂直降下訓練施設
水難訓練用プール (兼、潜水訓練)	FRP製	25m×5コース 水深1.5m～3.0m 容量630m³ 採水口4箇所(ポンプ車用)	機械室・便所(34.43㎡)
その他施設			油火災消火訓練施設(耐火レンガ造) 直径3m×高さ0.5m 防火訓練壁 幅14m×高さ4m 受水槽20㎡ 煙道訓練施設 間口1.0m×1.0m
屋外訓練場		7,800㎡(120m×65m)	1周200mグラウンド

### 2 教育訓練

消防職団員の各種教育訓練を第1表および第2表のように実施し、人的消防力の充実向上を図るとともに、より高度の専門的知識を修得させた。  
 また、第3表のとおり消防大学校へ職員が派遣された。

第1表 平成25年度 消防本部(局)別 受講者数

区分	教育訓練の種類	項目	実施年月日	教育 実日数	延時間	消防本部(局)						名 合計				
						福井	敦賀美方	南越	若狭	大野	勝山		鯖江丹生	横北	永平寺	
消防職員	初任教育(第48期)	初級幹部科(第40期)	25. 4. 3~ 9. 26	120	835	14	11	7	9	1		3	9	2	56	
		中級幹部科	25. 12. 2~12. 13	10	70	4	1	1	2	1	1		2	3	1	16
	幹部教育	上級幹部科(第8期)	隔年実施のため今年度中止													
		警防科	25. 6. 26~6. 28	3	21	4	1	1	1	1	1	2	3	3	1	15
	専科教育	特殊災害科(第6期)	隔年実施のため今年度中止													
		予防査察科(第10期)	25. 11. 13~11. 21	7	49	4	1	1	2	1	1	2	2	3	1	16
		危険物科	26. 2. 13~2. 26	10	70	4	1	1	1	1	1	2	3	3	1	14
		火災調査科(第20期)	隔年実施のため今年度中止													
	特別教育	救助科(第37期)	26. 1. 9~1. 23	10	70	4	1	1	1	2	1	1	2	3	1	16
		救急科(第21期)	25. 10. 7~11. 8	23	161	4	1	1	2	2	1	2	4	4	2	16
水難救助科(第18期)		26. 1. 28~3. 19	36	252	8	6	3	3	2	2	5	4	4	2	33	
特別講座等		25. 7. 10~7. 26	12	84	5	2		1			1	2	3		14	
特別教育	操法指導員教育	(下記公開講座に記載)														
	起震車操作員教育	24. 4. 19~4. 20	2	14	5	4	4	4	4	2	4	4	4	2	33	
消防団員	初級幹部科	小計		234	1,631	56	29	20	27	12	9	26	39	11	229	
		(第1回)	25. 5. 19	1	7	8	2	15	3	2	2	5	4	1	42	
	中級幹部科	(第2回)	25. 10. 20	1	7		3	9	4	2	3	4	4	1	30	
		(第1回)	25. 6. 9	1	7	5		13		1	3	5	5	3	35	
	中級幹部科	(第2回)(嶺南)	25. 12. 1	1	7				22						22	
		(第3回)	26. 1. 26	1	7	3		3		1	2	5	4		18	
	消防団員指導員教育(日消)	(第1回)	25. 11. 9~11. 10	2	12	1	3	4	4	4	1	1	1	2	1	18
		小計		7	47	17	8	44	33	7	11	20	19	6	165	
	一般その他	自衛消防隊幹部教育	(第1回)	25. 12. 17	1	7	5	18	11	3	10	2		5		54
			(第2回)	26. 3. 9	1	6	8		2	3	3	2		5	1	21
自主防災組織員教育		(第1回)	25. 10. 13	1	3	17		17			26	2		5	23	
		(第2回)嶺南	25. 12. 8	1	3				23						23	
自主防災組織員教育(第3回)		26. 2. 9	1	3	15		2		3	3	2		2	5	29	
小計		5	22	45	18	30	28	42	8	17	29	17	29	217		
合計			246	1,700	118	55	94	88	61	28	46	75	46	611		
公開講座	上級幹部科	(第1回)	25. 6. 27	1	4	17	6	4	4	1	2	6	7	2	49	
		(第2回)	25. 11. 18	1	4	12	6	4	6	3	3	5	7	4	50	
	予防査察科	(第1回)	26. 2. 17	1	4	13	7	4	6	2	3	5	7	3	50	
		(第2回)	26. 2. 24	1	4	17	10	11	7	3	3	9	8	4	72	
小計		4	16	59	29	23	23	9	11	25	29	13	221			
合計			250	1,716	177	84	117	111	70	39	71	104	59	832		



第2表 平成25年度消防学校教育訓練実施状況

区分	項目		教育人員	教育実日数	教育時間数	担当講師別時間数			
						学校	県	消防	専門
消防職員	初任教育(第48期)		56	120	835	531	39	202	63
	幹部教育	初級幹部科(第40期)	16	10	70	10	8	17	35
		中級幹部科							
		上級幹部科(第8期)	15	3	21	2	2	6	11
	専科教育	警防科							
		特殊災害科(第6期)	16	7	49	13	8	7	21
		予防査察科(第10期)	14	10	70	16	4	46	4
		危険物科							
		火災調査科(第20期)	16	10	70	7	12	37	14
		救助科(第37期)	16	23	161	22	8	111	20
	特別教育	救急科(第21期)	33	36	252	7	7	61	177
		救急救命士研修(中止)							
		水難救助科(第18期)	14	12	84	8		69	7
		操法指導員教育	33	2	14			14	
		起震車操作員教育(中止)							
小計		229	233	1,626	616	88	570	352	
消防団員	初級幹部科		72	2	14	14			
	中級幹部科		75	3	21	6	6		9
	消防団指導員教育(日消)		18	2	12	8	2		2
	小計		165	7	47	28	8	0	11
一般その他	自衛消防隊幹部教育		54	1	7	4			3
	少年消防クラブ員教育(中止)								
	女性防火クラブ員教育		21	1	6	3			3
	自主防災組織員教育		142	3	9	3			6
	小計		217	5	22	10	0	0	12
合計		611	245	1,695	654	96	570	375	
公開講座	上級幹部科		49	1	4				4
	特殊災害科		50	1	4				4
	予防査察科		50	1	4				4
	救急科		72	1	4				4
	公開講座合計		221	4	16	0	0	0	16
総合計		832	249	1,711	654	96	570	391	

第3表 平成25年度消防大学校派遣者数

学 科	派遣者数	備 考
幹部科 (第34期) (第35期) (第36期)	4	福井、大野市、鯖江・丹生
上級幹部科 (第77期)	1	消防学校
新任消防長・学校長科 (第15期)	1	消防学校
警防科 (第93期) (第94期)	2	嶺北、消防学校
救助科 (第67期)	1	若狭
予防課 (第95期)	1	南越
危険物科 (第8期)	1	嶺北
火災調査科 (第25期) (第26期)	2	鯖江・丹生、嶺北
新任教官科 (第7期)	1	消防学校
高度・特別高度救助コース (第3回)	1	敦賀美方
N B C コース (第3回)	2	若狭、消防学校
航空隊長コース (第12回)	1	防災航空事務所
トップマネジメントコース (第15回)	1	越前市
危機管理・国民保護コース (第3回)	2	嶺北、福井市
自主防災組織育成コース (第9回)	2	嶺北、福井県
違反是正特別講習 (第1回)	1	敦賀美方
合計	24	